

令和 6 年 度

十勝農業試験場年報

—2024—

令和 7 年 7 月

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

農業研究本部十勝農業試験場

目 次

A	概 要	
1.	沿 革	1
2.	立 地	2
3.	機 構	2
4.	職 員	3
5.	施設および備品	5
6.	予 算	6
7.	試験ほ場	6
8.	施設等配置図	8
B	作 況	
1.	気象の概要	9
2.	当場の作況	12
C	試験研究および地域支援活動の概要	
1.	豆類畑作グループ	18
2.	農業システムグループ	19
3.	生産技術グループ	20
D	試験研究および地域支援活動の課題名	
1.	豆類畑作グループ	23
2.	農業システムグループ	26
3.	生産技術グループ	27
E	試験研究成果の公表	
1.	技術普及に移された成果	30
2.	論文、資料および刊行物	30
F	研修および技術支援	
1.	研修生の受入れ	33
2.	技術支援	33
3.	参観・視察者対応	36
G	広報活動、研究企画、場運営等	
1.	広報活動	37
2.	研究企画・場運営	38
3.	自己点検への対応	42

A 概 要

1. 沿 革

当場は、明治 28 年、河西郡下帯広村（現帯広市）に十勝農事試作場として開設され、畑作物の試作試験を行ったのが始まりである。翌年（明治 29 年）には水稻の試験圃、果樹園の設置が行われた。

明治 34 年、北海道庁地方農事試験場十勝分場と改称、明治 40 年河西郡幸震村（現帯広市大正町）に高丘地試験地が設置された。さらに、明治 43 年第 1 期北海道拓殖計画により農事試験機関の統一が行われ、北海道農事試験場十勝支場に改称し、その後も幾多の変遷を経ながら、十勝独自の自然条件に適応する畑作、稲作、さらに経営方式の試験研究に努め、農業の進展、管内の開発と歩みをともにした。

昭和 25 年、農業試験研究機関の整備統合により、従来の試験機関が国立と道立に 2 分され、当場は道費支弁の北海道立農業試験場十勝支場となり、同時に高丘地試験地は十勝支場分室となったが、分室は昭和 28 年、大正火山灰研究室となり、国立農試に移管された。

さらに、昭和 28 年より北海道の施設として農業試験機関の整備拡充が計画され、当場もその計画の一環として移転拡充を行うこととなり、昭和 33 年より河西郡芽室町への移転に着手し、昭和 34 年 10 月には現庁舎が完成、翌 35 年から畑作関係の試験業務は芽室に移して実施し、昭和 36 年には低温恒温室、温室、水稻試験地施設も完成して移転と整備はすべて完了した。

昭和 39 年 11 月、本道の農畜一体となった試験研究を行うための機構改革が実施され、当場は北海道立十勝農業試験場と改称された。

この間、昭和 31 年に農林省の全額助成による豆類育種指定試験地、昭和 36 年には豆類第 2 育種指定試験地、昭和 38 年にはとうもろこし育種指定試験地が設置されたが、豆類第 2 育種指定試験地は廃止され、豆類第 1 科に吸収された。

昭和 43 年には地力保全基本調査が開始され、昭和 48 年には小豆育種指定試験地が設置された。また、技術普及のため、昭和 26 年から専門技術員が駐在していたが、昭和 44 年に専門技術員室を設け、以後配置数が徐々に増加した。

さらに、昭和 59 年 8 月には経営試験研究体制の再編整備に伴い、経営科が新設され、昭和 62 年 4 月には園芸作物部門強化に伴い、作物科が畑作園芸科と改称された。

昭和 61 年には、農（畜）試整備計画により庁舎が増築され、共同実験室及び研究室、会議室が拡充された。

平成 4 年、道立農業試験場の研究基本計画に基づく再編整備により研究部長が置かれ、畑作園芸科が廃止されるとともに、作物科と園芸科が独立の科として新設され、てん菜科はてん菜特産作物科、病虫害科は病虫科と改称された。

平成 6 年には、そうか病総合プロジェクトチームが設置され、病虫科、作物科及び土壌肥料科の研究員が担当することとなった。

平成 7 年（1995）は、明治 28 年（1895）に十勝農事試作場が開設されてから 100 年にあたり、十勝農業試験場 100 周年記念の事業を行った。

平成 12 年には道立農試組織再編に伴い、作物研究部、生産研究部及び技術普及部、総務課の 3 部 1 課編成となった。うち、作物研究部は、大豆科、小豆菜豆科、てん菜畑作園芸科、管理科の 4 科、生産研究部は栽培システム科、栽培環境科、病虫科、経営科の 4 科構成となり、専門技術員室は技術普及部に名称変更となった。また、実証事業を中心とする課題を立ち上げ、技術普及部次長をチーフとし、研究員と専門技術員をスタッフとする技術体系化チームで対応することとした。

平成 18 年には道立農業試験場研究基本計画ならびに普及事業見直しの基本方向に基づく組織再編により、てん菜畑作園芸科は畑作園芸科と改称された。また、専門技術員機能は普及センターにおいても担うこととなり、技術普及部は部長、次長、主任普及指導員及び主査（地域支援）4 名の体制として組織再編された。

平成 22 年 4 月 1 日に、地方独立行政法人北海道立総合研究機構が設立され、当場は農業研究本部十勝農業試験場として再出発した。研究部は豆類グループ（研究支援を含む）、生産システムグループ、生産環境グループ、地域技術グループの部門を横断する研究に対応する 4 グループ体制に再編成された。また、3 名の普及職員が北海道農政部技術普及課の所属として当場（技術普及室）に駐在し、地域技術グループとともに、普及事業との連携、地域課題の解決に当たることとした。

平成 29 年には、生産システムグループに主査（スマート農業）及び研究員 1 名が配置され、ICT を活用した農業技術の開発推進を担うこととなった。

平成 30 年には、豆類グループが大豆グループ（研究支援を含む）と小豆菜豆グループに分割、拡充された。

令和2年には、研究管理業務の効率化を図るため、大豆グループと小豆菜豆グループが再び統合され、さらに地域技術グループの畑作部門が加わって豆類畑作グループ（2研究主幹）となった。一方、生産環境グループと地域技術グループの園芸部門・地域支援部門が統合され、生産技術グループとなった。また、生産システムグループは農業システムグループに改称され、3グループ・4研究主幹体制に再編成された。

2. 立 地

1) 位 置

庁舎及び試験ほ場は河西郡芽室町新生にあり、J R北海道根室本線芽室駅から南東へ約5km、帯広市の西方約16kmの距離にある（東経143度31分、北緯42度53分、海拔98m）。

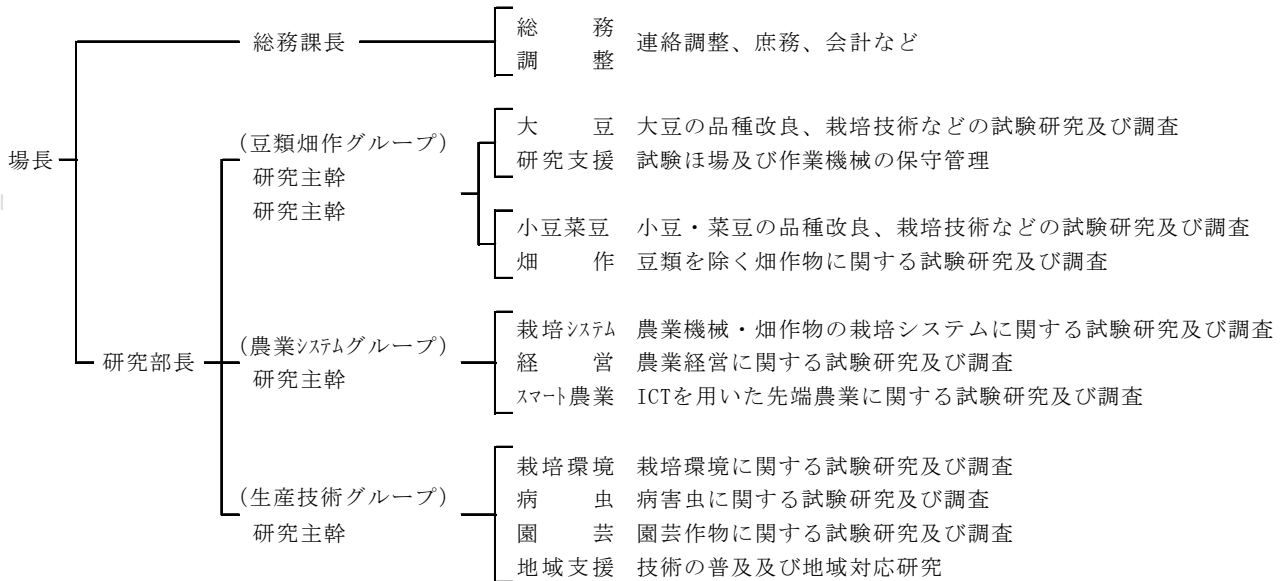
2) 土 壤

土壌は伏古統に属し、礫、砂層及び凝灰質堆積物の上に旭岳、雌阿寒岳、十勝岳B、十勝岳Cの火山噴火物が降下堆積した砂壤土である。

3) 敷地面積

区 分	面 積 (㎡)
総 面 積	780,099
(建物敷地)	(95,175)
(防風林)	(113,146)
(原生林)	(19,454)
(幹線道路)	(16,688)
(試験圃場)	(535,636)

3. 機 構



(十勝農業試験場技術普及室)

上席普及指導員 — 主任普及指導員 — 主査 (普及指導)

※所属は北海道農政部生産振興局技術普及課 (十勝農業試験場駐在)

4. 職 員

1) 現在員

(令和7年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
場 長	相 馬 潤	<農業システムグループ>	
<総務課>		研 究 主 幹	平 石 学
総 務 課 長	駒 井 敦	主査（栽培システム）	吉田 邦彦
主 査 （ 総 務 ）	成田 信幸	主 査 （ 経 営 ）	渡辺 康平
主 査 （ 調 整 ）	－	研 究 職 員	大畑 美結
専 門 主 任	高橋 英樹	主任主査（スマート農業）	関口 建二
技 師	猪股 大翔	研 究 職 員	木村 智之
技 師	三浦 風香	シニアアドバイザー	江部 成彦
<研究部>		<生産技術グループ>	
研 究 部 長	安岡 眞二	研 究 主 幹	酒 井 治
<豆類畑作グループ>		主 査 （栽培環境）	石 倉 究
研 究 主 幹	奥山 昌隆	研 究 職 員	坂本樹一朗
主 査 （ 大 豆 ）	鈴木 千賀	研 究 職 員	池本 秀樹
研 究 主 任	萩原 誠司	主 査 （ 病 虫 ）	東岱 孝司
研 究 主 任	足利 奈奈	研 究 主 査	白井 佳代
研 究 職 員	五十嵐秀成	研 究 主 任	丸山麻理弥
専 門 主 任	木村 裕之	研 究 主 任	村田 暢明
主 任	安達 祐平	主 査 （ 園 芸 ）	坂口 雅己
技 師	杉村 海飛	研 究 主 任	奥 村 理
研 究 主 幹	大波 正寿	主 査 （地域支援）	田澤 暁子
主 査 （小豆菜豆）	堀内 優貴		
研 究 主 任	佐藤 博一	<技術普及室>	
研 究 主 任	長澤 秀高	上 席 普 及 指 導 員	高橋 雅人
研 究 職 員	島田 翔太	主 任 普 及 指 導 員	石村 博之
主 査 （ 畑 作 ）	来嶋 正朋	主 査 （普及指導）	清水 理沙
研 究 主 査	青 山 聡		

※ 総務課職員は、北海道総合政策部次世代社会戦略局科学技術振興課から派遣。

※ 技術普及室職員の所属は、北海道農政部生産振興局技術普及課（十勝農業試験場駐在）。

2) 転入、採用、昇格者

職 名	氏 名	発令年月日	備 考
場 長	相 馬 潤	R6. 4. 1	中央農業試験場から
研究部長	安岡 眞二	R6. 4. 1	農業研究本部企画調整部から
主査(総務)	成田 信幸	R6. 4. 1	北見農業試験場から
シニアアドバイザー	江部 成彦	R6. 4. 1	中央農業試験場から
主査(地域支援)	田澤 暁子	R6. 4. 1	北見農業試験場から
主査(経営)	渡辺 康平	R6. 4. 1	農業システム研究主任から
研究主任	足利 奈奈	R6. 4. 1	北見農業試験場から
技 師	猪股 大翔	R6. 4. 1	上川総合振興局から
技 師	三浦 風香	R6. 4. 1	後志総合振興局から
研究職員	島田 翔太	R6. 4. 1	新規採用

3) 転出者等

職 名	氏 名	発令年月日	備 考
場 長	及川 学	R6. 4. 1	畜産試験場へ
研究部長	鈴木 剛	R6. 4. 1	中央農業試験場へ
主査(大豆)	小林 聡	R6. 4. 1	中央農業試験場へ
研究主任	中川 浩輔	R6. 4. 1	北見農業試験場へ
研究職員	細川 優介	R6. 4. 1	中央農業試験場へ
研究職員	藤田 一輝	R6. 4. 1	上川農業試験場へ
主査(総務)	竹内 豊	R6. 3. 31	退職
主査(調整)	小林 英範	R6. 3. 31	退職
主 任	杉山 展明	R6. 3. 31	退職

4) 契約職員

種 別	配 置	雇用期間					
		4～3月	4～12月	4～6月	4～5月	5～8月	5～12月
事務補助	総務課	1人					
事務補助	研究支援						
研究補助	各グループ	7人	7人				2人
季節農作業補助	研究支援						9人
季節農業技能員	研究支援						3人
種 別	配 置	雇用期間					
		9～2月	10～1月	11～3月	11～2月	12～3月	1～3月
事務補助	総務課						
事務補助	研究支援						
研究補助	各グループ			1人		1人	7人
季節農作業補助	研究支援						
季節農業技能員	研究支援						

※パートタイム勤務

5. 施設および備品

1) 今年度設置・改修・整備・廃止した施設等

(単位：円)

施設の名称	事業内容	事業量	金 額
[整備] 空調設備新設工事	大会議室、小会議室、第2号共同調査室空調設備新設	一式	4,015,000
[改修] 高圧真空遮断機改修工事	高圧真空遮断機改修	一式	1,577,400
[設備] 第3号共同調査室等空調設備新設工事	第3号共同調査室、豆類特性検定温室空調設備新設	一式	1,870,000
[整備] 軽量鉄骨ハウスはさがけパイプ設置、豆類特性検定温室有圧換気設備設置工事	はさがけパイプ設置、有圧換気設備設置	一式	1,083,500
[改修] 休憩兼警備員室修繕工事	室内修繕、空調設備新設	一式	1,018,600
[改修] 浸透升修繕工事	浸透升修繕	一式	543,950
[改修] 豆類特性検定温室（B、D室）電照設備改修工事	電照設備改修	一式	3,190,000
[整備] 防風林伐採・抜根工事	防風林伐採・抜根 780本	一式	4,180,000
[整備] 防風林整備工事	防風林枝打ち	一式	941,600
[改修] 豆類特性検定温室養液給液装置改修工事	給液装置改修	一式	9,790,000
[改修] 第2号低温育種実験室複合制御盤修繕工事	複合制御盤修繕	一式	979,000

2) 新たに購入した主な備品

(単位：円)

品 名	規 格	数 量	金 額
高速冷却遠心機	エプソン [®] ル7・ハイマック・テクノロジーズ [®] Centrifuge CR21N	1台	4,602,400
大判プリンター	キャノン imagePROGRAF GP-4600S	1台	492,800
照明育成棚	日本医化器械製作所 LS-1520PFS-4-10L	2台	2,197,800
カラープリンター	RICOH IP C6010	2台	340,890
豆用卓上研磨機	安西製作所 PF-01	1台	858,000
監視カメラシステム	セコム	1式	594,770
FFストープ	サンボット FF-11000BF 他	2台	499,070
pHメーター	東亜 HM-41X	1台	121,000
溶接機	パナソニック 350GR3	1台	429,000
ロータリーシェーカー	タイテック NR-20	1台	266,200
デスクトップPC	エプソンEndeavorAT998 他	6台	1,664,410
データロガー	MCS FTJR-DC-SD1TDR	2台	288,200
デジタル貫入式土壌硬土計	大起理化工業 DIK-5532	1台	693,000
砂柱法キット	大起理化工業 DIK-3521	1台	471,350
データ表示器	大起理化工業 DIK-9705	1台	102,300
冷蔵庫	シャープ SJ-PD31K-W	1台	107,800
土壌水分プロファイルセンサー	クリマテック CST-SEN-DD6	2本	704,000
グロースチャンバー	パナソニック MLR-352-PJ	1台	326,700
乾燥機	エスベック PV-332	2台	4,950,000
ノートPC	Dynabook A6A1XYL7211A	2台	381,150

6. 予 算

1) 収 入

(単位：円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	増 減
技術普及指導手数料	222,000	222,000	222,000	0
農産物売払収入	1,556,000	1,556,000	1,641,000	85,000
法人財産使用料等	0	0	0	0
その他雑収入	0	0	24,000	24,000
共同研究費負担金	1,620,000	1,620,000	1,620,000	0
国庫受託研究収入	2,902,000	2,902,000	3,630,000	728,000
道受託研究収入	3,251,000	3,251,000	6,497,000	3,246,000
その他受託研究収入	100,619,000	100,619,000	123,810,000	23,191,000
道補助金	0	0	0	0
科学研究費補助金収入	0	0	0	0
合 計	110,170,000	110,170,000	137,444,000	27,274,000

2) 支 出

(単位：円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	繰越額	増 減
戦略研究費	2,100,260	2,100,260	2,100,260	0	0
重点研究費	9,181,455	9,181,455	9,061,689	119,766	0
職員研究奨励費	0	0	0	0	0
経常研究費	23,783,000	23,783,000	23,463,186	0	▲ 319,814
依頼試験費	0	0	0	0	0
技術普及指導費	222,000	222,000	222,000	0	0
外部資金確保対策費	0	0	0	0	0
研究用備品整備費	0	4,602,400	4,602,400	0	0
維持管理経費（研究）	0	0	0	0	0
維持管理経費（一般）	31,222,000	31,222,000	31,222,000	0	0
研究関連維持管理経費	725,000	725,000	725,000	0	0
運営費	50,276,000	52,634,410	52,634,410	0	0
共同研究費	0	0	0	0	0
国庫受託研究費	2,902,000	3,630,000	3,630,000	0	0
道受託研究費	3,251,000	6,497,000	6,497,000	0	0
その他受託研究費	100,619,000	109,127,000	109,127,000	0	0
施設整備費（繰越積立金）	0	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	0	0	0	0	0
合 計	224,281,715	243,724,525	243,284,945	119,766	▲ 319,814

7. 試験ほ場

1) ほ場整備

防風林の計画的更新を行っており、本年度は A5 東

側、B4 東側、D2 東側のカラマツ伐採・抜根、ならびに
A3 西側、A5 西側の枝打ちを行った。

2) 試験ほ場作付図

<table><tr><td>D-1</td><td>210a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>小豆</td><td>75 a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>25 a</td><td>大豆</td><td>25 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>25 a</td><td>大豆</td><td>25 a</td></tr></table>	D-1	210a	大豆	10a	小豆	75 a	大豆	10a	大豆	25 a	大豆	25 a	大豆	25 a	大豆	25 a	<table><tr><td>C-1</td><td>200a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-1	200a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-1</td><td>135a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-1	135a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-3</td><td>40a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-3	40a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>5.357a</td><td>1.326a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>5.357a</td><td>1.326a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>5.357a</td><td>1.326a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>5.357a</td><td>1.326a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	5.357a	1.326a	167a	952a	5.357a	1.326a	167a	952a	5.357a	1.326a	167a	952a	5.357a	1.326a	167a	952a
D-1	210a	大豆	10a																																																																																	
小豆	75 a	大豆	10a																																																																																	
大豆	25 a	大豆	25 a																																																																																	
大豆	25 a	大豆	25 a																																																																																	
C-1	200a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-1	135a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-3	40a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
5.357a	1.326a	167a	952a																																																																																	
5.357a	1.326a	167a	952a																																																																																	
5.357a	1.326a	167a	952a																																																																																	
5.357a	1.326a	167a	952a																																																																																	
<table><tr><td>D-2</td><td>215a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr></table>	D-2	215a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	<table><tr><td>C-2</td><td>210a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-2	210a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-2</td><td>135a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-2	135a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-4</td><td>122a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-4	122a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a
D-2	215a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
C-2	210a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-2	135a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-4	122a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
<table><tr><td>D-3</td><td>205a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr></table>	D-3	205a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	<table><tr><td>C-3</td><td>205a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-3	205a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-3</td><td>175a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-3	175a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-5</td><td>185a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-5	185a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a
D-3	205a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
C-3	205a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-3	175a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-5	185a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
<table><tr><td>D-4</td><td>200a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr></table>	D-4	200a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	<table><tr><td>C-4</td><td>205a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-4	205a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-4</td><td>140a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-4	140a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-6</td><td>185a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-6	185a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a
D-4	200a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
C-4	205a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-4	140a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-6	185a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
<table><tr><td>D-5</td><td>215a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr></table>	D-5	215a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	<table><tr><td>C-5</td><td>220a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-5	220a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-5</td><td>215a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-5	215a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-7</td><td>200a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-7	200a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a
D-5	215a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
C-5	220a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-5	215a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-7	200a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
<table><tr><td>D-6</td><td>195a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr></table>	D-6	195a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	<table><tr><td>C-6</td><td>200a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-6	200a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-6</td><td>190a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-6	190a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-8</td><td>185a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-8	185a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a
D-6	195a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
C-6	200a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-6	190a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-8	185a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
<table><tr><td>D-7</td><td>190a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr></table>	D-7	190a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	<table><tr><td>C-7</td><td>205a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-7	205a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-7</td><td>120a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-7	120a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-9</td><td>185a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-9	185a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a
D-7	190a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
C-7	205a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-7	120a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-9	185a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
<table><tr><td>D-8</td><td>180a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>10a</td><td>大豆</td><td>10a</td></tr></table>	D-8	180a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	大豆	10a	<table><tr><td>C-8</td><td>190a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>68 a</td><td>大豆</td><td>68 a</td></tr></table>	C-8	190a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	大豆	68 a	<table><tr><td>B-8</td><td>110a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr><tr><td>大豆</td><td>67 a</td><td>大豆</td><td>67 a</td></tr></table>	B-8	110a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	大豆	67 a	<table><tr><td>A-10</td><td>185a</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr><tr><td>大豆</td><td>15</td><td>大豆</td><td>15</td></tr></table>	A-10	185a	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	大豆	15	<table><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr><tr><td>167a</td><td>952a</td><td>167a</td><td>952a</td></tr></table>	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a	167a	952a
D-8	180a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
大豆	10a	大豆	10a																																																																																	
C-8	190a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
大豆	68 a	大豆	68 a																																																																																	
B-8	110a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
大豆	67 a	大豆	67 a																																																																																	
A-10	185a	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
大豆	15	大豆	15																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	
167a	952a	167a	952a																																																																																	

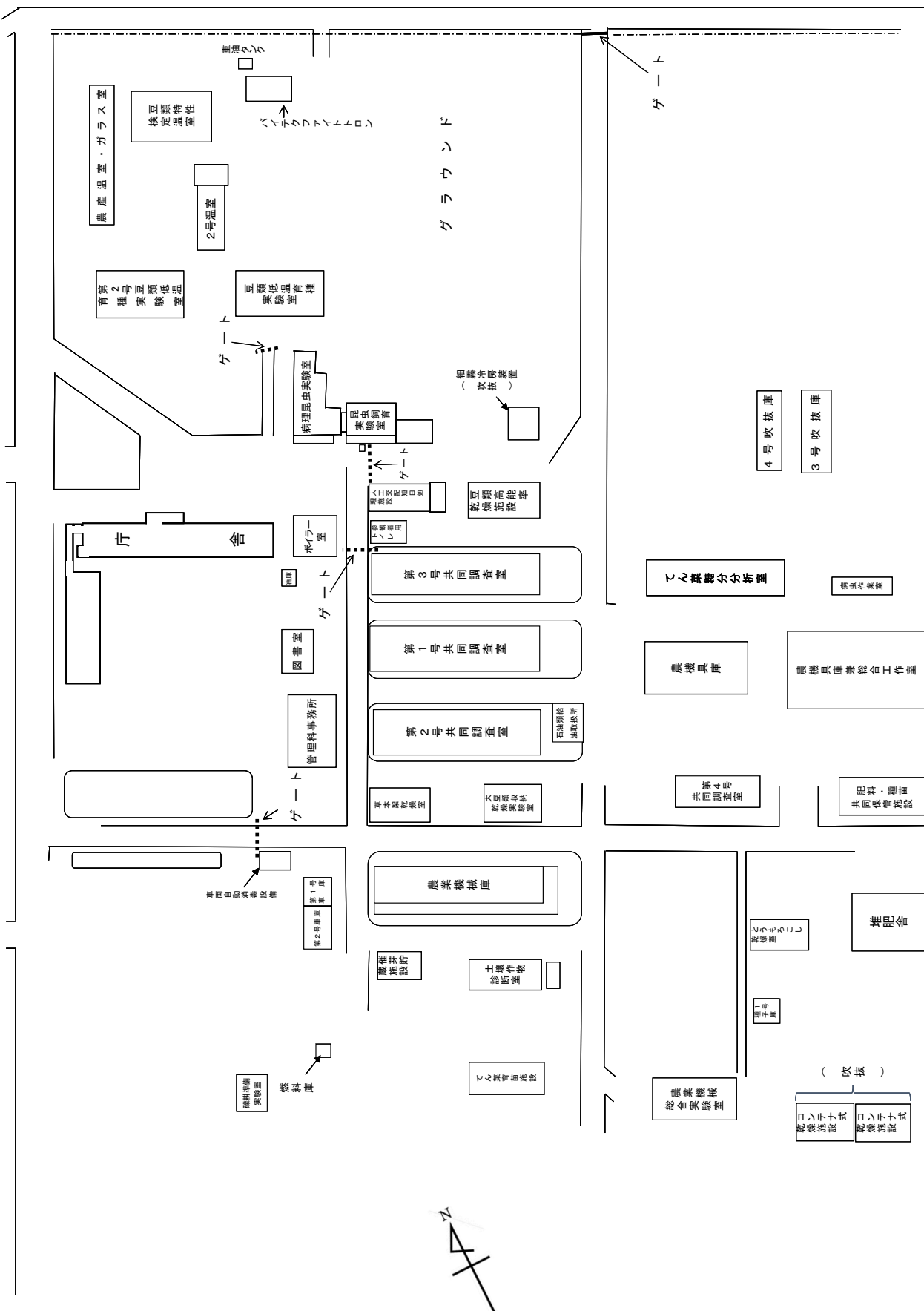
ばれいしよローテーション圃

病害隔離圃場

固定圃場



8. 施設等配置図



B 作 況

1. 気象の概要

1) 前年9月から根雪始めまでの経過

9月 平均気温は、上旬が高く、中旬がかなり高く、下旬が高かった。降水量は、上旬が多く、中旬が少なく、下旬が平年並であった。日照時間は、上旬が平年並、中旬が少なく、下旬がやや少なかった。

10月 平均気温は、上旬がやや高く、中・下旬が高かった。降水量は、上旬が平年並、中旬・下旬が少なかった。日照時間は、上旬がやや多く、中旬が多く、下旬がやや少なかった。

11月 平均気温は、1ヶ月を通じて高かった。降水量は、上旬が平年並、中旬が多く、下旬がやや少なかった。日照時間は、上旬が少なく、中旬がやや多く、下旬が平年並であった。

12月 平均気温は、上旬がやや高く、中旬が平年並、下旬がやや低かった。降水量は、上旬が少なく、中旬が平年並、下旬がやや少なかった。日照時間は、上旬・中旬がやや少なく、下旬が平年並であった。

2) 根雪期間中の経過

1月 平均気温は、上旬・中旬が平年並、下旬が高かった。降水量は、上旬が平年並、中旬がやや少なく、下旬がやや多かった。日照時間は、上旬が少なく、中旬が平年並、下旬がかなり少なかった。

2月 平均気温は、上旬がやや低く、中旬が高く、下旬が低かった。降水量は、上旬がやや少なく、中旬が平年並、下旬が多かった。日照時間は、1ヶ月を通して平年並であった。

3月 平均気温は、上旬がかなり低く、中旬・下旬が低かった。降水量は、上旬が少なく、中旬が平年並、下旬が多かった。日照時間は、上旬がやや多く、中旬がやや少なく、下旬が平年並であった。

3) 根雪終わり以降の経過

4月 平均気温は、上旬が高く、中旬がかなり高く、下旬が高かった。降水量は、上旬が平年並、中旬が少なく、下旬が平年並であった。日照時間は、上旬が多く、中旬・下旬がやや少なかった。

5月上旬 平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並。

5月中旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並。

5月下旬 平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間

はやや少ない。

6月上旬 平均気温は低く、降水量は少なく、日照時間は少ない。

6月中旬 平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多い。

6月下旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多い。

7月上旬 平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多い。

7月中旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多い。

7月下旬 平均気温は高く、降水量は多く、日照時間はやや少ない。

8月上旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり少ない。

8月中旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり少ない。

8月下旬 平均気温は高く、降水量はやや少なく、日照時間はかなり少ない。

9月上旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多い。

9月中旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はやや多い。

9月下旬 平均気温は平年並、降水量は少なく、日照時間はやや少ない。

10月上旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はやや少ない。

10月中旬 平均気温は高く、降水量はやや少なく、日照時間はやや多い。10月14日に初霜を観測。

10月下旬 平均気温は高く、降水量はやや多く、日照時間はやや多い。

11月上旬 平均気温は低く、降水量は少なく、日照時間は多い。11月7日に初降雪を観測。

11月中旬 平均気温は平年並、降水量は少なく、日照時間は平年並。

4) 農耕期間(5月上旬から9月下旬)の気象経過

平均気温は、平年に比べて、6月中旬～9月中旬が高く経過し、特に6月中旬、7月上旬がかなり高かった。また、5月上旬、5月下旬～6月上旬は低く経過した。この期間の平均気温の積算値は平年より 204℃高い 2,798℃となり、平年比 108%であった。

降水量は、平年に比べて、5 月上・下旬に平年並で、7 月下旬に多かった以外は全般的に少なかった。この期間の降水量の積算値は平年より 283mm 少ない 278mm となり、平年比 50%であった。降水日数は平年より 8 日少ない 48 日となり、平年比 86%であった。

日照時間は、平年に比べて、6 月中旬～7 月中旬、9 月上旬はかなり多かった。また、6 月上旬は少なく、8 月上～下旬はかなり少なかった。この期間の日照時間の積算

値は平年より 24 時間多い 780 時間となり、平年比 103%であった。

以上から、本年の農耕期間（5 月上旬から 9 月下旬）の気象は、6 月中旬以降の高温が特徴的であり、積算の平均気温は高かった。降水日数は平年より少なく、降水量は平年よりかなり少なかった。日照時間は平年並であった。

表 B-1 農耕期間における気象観測値の積算値（芽室アメダス）

		平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	日照時間 (hrs)	降水量 (mm)	降水日数 (日)
4月中旬～ 11月上旬	本年	3,399	4,701	2,161	1,155	378	62
	平年	3,086	4,326	1,950	1,129	732	75
	比較	313	375	211	26	△ 354	△ 13
5月～9月	本年	2,798	3,714	1,949	780	278	48
	平年	2,594	3,466	1,830	756	561	56
	比較	204	284	119	24	△ 283	△ 8

注) 平年値は平成 26 年～令和 5 年の 10 年平均値。

表 B-2 季節表（十勝農試）

項目	根雪始 (月. 日)	根雪終 (月. 日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月. 日)	耕鋤始 (月. 日)	晩霜 (月. 日)	初霜 (月. 日)	無霜期間 (日)	降雪始 (月. 日)
本年	R5. 12. 12	R6. 4. 3	114	R6. 3. 31	R6. 4. 8	R6. 5. 10	R6. 10. 14	156	R6. 11. 7
平年	12. 10	3. 29	110	4. 19	4. 14	5. 3	10. 11	160	11. 10
比較(日)	2	5	4	△ 19	△ 6	7	3	△ 4	△ 3

注) 平年値は平成 26 年～令和 5 年の 10 年平均値。

表 B-3 気象表

年月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hrs)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R5年 上旬	21.2	18.5	2.7	26.3	23.6	2.7	16.6	14.2	2.4	58.5	30.0	28.5	6.0	4.2	1.8	43.6	43.9	-0.3
9月 中旬	21.4	15.7	5.7	26.5	20.8	5.7	17.6	10.6	7.0	45.0	59.9	-14.9	6.0	4.3	1.7	36.5	48.5	-12.0
下旬	15.4	14.0	1.4	21.2	19.9	1.3	10.3	8.1	2.2	31.0	27.9	3.1	2.0	3.0	-1.0	48.8	54.3	-5.5
10月 上旬	12.7	12.1	0.6	18.0	17.8	0.2	7.5	6.3	1.2	50.0	45.9	4.1	5.0	4.0	1.0	58.5	50.8	7.7
中旬	10.7	8.8	1.9	17.5	14.8	2.7	3.8	2.7	1.1	17.5	35.3	-17.8	3.0	3.1	-0.1	73.1	58.8	14.3
下旬	8.6	7.2	1.4	13.6	12.9	0.7	3.9	1.5	2.4	2.5	22.7	-20.2	2.0	3.2	-1.2	56.1	63.3	-7.2
11月 上旬	8.5	5.6	2.9	13.7	10.8	2.9	2.9	0.3	2.6	27.0	27.9	-0.9	4.0	3.2	0.8	39.4	51.4	-12.0
中旬	3.8	2.7	1.1	8.4	7.6	0.8	-1.4	-2.4	1.0	66.0	17.1	48.9	2.0	3.0	-1.0	59.1	52.1	7.0
下旬	1.4	-0.1	1.5	5.6	4.7	0.9	-3.3	-5.6	2.3	10.5	16.6	-6.1	2.0	2.4	-0.4	53.2	53.0	0.2
12月 上旬	-1.8	-2.8	1.0	4.2	2.3	1.9	-7.3	-8.8	1.5	0.5	17.4	-16.9	1.0	2.4	-1.4	47.0	55.7	-8.7
中旬	-4.5	-4.3	-0.2	-1.2	0.6	-1.8	-8.8	-10.3	1.5	9.0	10.2	-1.2	4.0	1.9	2.1	43.7	52.8	-9.1
下旬	-6.3	-5.6	-0.7	-1.1	-0.6	-0.5	-12.2	-12.3	0.1	7.5	16.3	-8.8	1.0	1.4	-0.4	59.9	58.6	1.3
R6年 上旬	-7.1	-7.4	0.3	-0.9	-1.9	1.0	-16.5	-14.5	-2.0	3.5	6.1	-2.6	2.0	1.2	0.8	44.6	59.5	-14.9
1月 中旬	-9.2	-8.8	-0.4	-3.2	-2.7	-0.5	-16.7	-15.9	-0.8	8.0	16.3	-8.3	2.0	2.6	-0.6	59.5	54.2	5.3
下旬	-5.2	-8.2	3.0	-0.6	-2.5	1.9	-12.5	-16.2	3.7	23.0	13.9	9.1	3.0	2.3	0.7	36.9	63.3	-26.4
2月 上旬	-9.8	-8.8	-1.0	-3.4	-3.0	-0.4	-16.8	-16.6	-0.2	0.5	7.0	-6.5	1.0	1.5	-0.5	62.6	62.6	0.0
中旬	-3.4	-5.7	2.3	4.4	-0.2	4.6	-12.7	-12.9	0.2	12.5	16.5	-4.0	2.0	2.4	-0.4	53.8	55.7	-1.9
下旬	-7.2	-5.3	-1.9	-2.1	0.5	-2.6	-13.6	-13.0	-0.6	22.0	9.8	12.2	2.0	1.6	0.4	56.1	60.2	-4.1
3月 上旬	-7.8	-2.8	-5.0	-0.8	2.5	-3.3	-17.8	-9.5	-8.3	9.0	41.6	-32.6	1.0	2.8	-1.8	64.6	58.6	6.0
中旬	-1.6	-0.3	-1.3	3.1	4.7	-1.6	-7.8	-6.1	-1.7	11.5	8.7	2.8	3.0	1.7	1.3	57.6	68.5	-10.9
下旬	0.3	2.0	-1.7	5.9	7.7	-1.8	-6.2	-3.7	-2.5	33.0	9.4	23.6	3.0	2.6	0.4	77.8	83.0	-5.2
4月 上旬	5.3	4.2	1.1	11.3	9.8	1.5	-0.8	-1.5	0.7	20.5	18.2	2.3	1.0	2.5	-1.5	85.5	68.6	16.9
中旬	10.4	5.9	4.5	17.3	12.2	5.1	4.7	-0.3	5.0	1.0	29.1	-28.1	2.0	3.4	-1.4	61.9	69.6	-7.7
下旬	10.8	8.5	2.3	17.4	15.8	1.6	4.9	0.9	4.0	21.0	17.4	3.6	3.0	2.4	0.6	61.8	76.7	-14.9
5月 上旬	9.6	11.1	-1.5	16.4	17.8	-1.4	2.1	3.9	-1.8	6.0	11.0	-5.0	2.0	2.4	-0.4	63.8	68.3	-4.5
中旬	14.9	12.0	2.9	21.7	19.2	2.5	7.8	5.1	2.7	5.0	19.6	-14.6	1.0	2.7	-1.7	72.2	68.8	3.4
下旬	12.8	14.5	-1.7	18.8	21.4	-2.6	6.1	7.8	-1.7	27.5	22.8	4.7	3.0	3.6	-0.6	65.6	78.3	-12.7
6月 上旬	12.8	14.8	-2.0	18.5	21.4	-2.9	7.8	9.1	-1.3	6.5	32.9	-26.4	3.0	3.2	-0.2	43.8	60.9	-17.1
中旬	19.0	15.1	3.9	25.1	20.2	4.9	13.0	11.0	2.0	5.5	36.1	-30.6	1.0	3.8	-2.8	58.4	40.0	18.4
下旬	18.8	16.7	2.1	25.2	22.2	3.0	12.6	12.1	0.5	19.5	34.1	-14.6	3.0	3.8	-0.8	64.9	44.9	20.0
7月 上旬	21.8	18.2	3.6	27.8	23.8	4.0	16.1	14.0	2.1	10.0	34.2	-24.2	4.0	3.7	0.3	60.2	44.3	15.9
中旬	22.6	19.8	2.8	29.9	25.2	4.7	17.0	15.6	1.4	5.5	32.5	-27.0	2.0	4.0	-2.0	74.8	38.2	36.6
下旬	22.7	21.6	1.1	28.2	27.0	1.2	18.3	17.5	0.8	52.0	24.9	27.1	5.0	3.3	1.7	36.9	45.0	-8.1
8月 上旬	23.3	21.4	1.9	28.8	26.6	2.2	20.1	17.3	2.8	21.5	54.6	-33.1	5.0	3.9	1.1	23.4	42.8	-19.4
中旬	21.8	19.6	2.2	26.5	24.4	2.1	18.9	15.9	3.0	33.5	74.6	-41.1	8.0	5.2	2.8	14.8	33.0	-18.2
下旬	21.5	19.6	1.9	25.9	24.6	1.3	18.0	15.4	2.6	58.0	63.6	-5.6	7.0	5.0	2.0	26.4	45.0	-18.6
9月 上旬	20.7	18.9	1.8	27.4	24.1	3.3	13.6	14.5	-0.9	1.0	33.2	-32.2	1.0	4.1	-3.1	75.4	45.4	30.0
中旬	17.5	16.1	1.4	24.4	21.2	3.2	10.2	11.2	-1.0	17.0	55.1	-38.1	1.0	4.5	-3.5	53.6	46.7	6.9
下旬	14.3	14.1	0.2	19.7	20.1	-0.4	9.2	8.3	0.9	9.0	28.3	-19.3	2.0	3.0	-1.0	45.3	53.8	-8.5
10月 上旬	14.0	12.0	2.0	19.0	17.7	1.3	9.3	6.3	3.0	23.0	47.1	-24.1	3.0	4.2	-1.2	43.7	52.0	-8.3
中旬	10.2	9.0	1.2	17.1	15.1	2.0	2.0	2.7	-0.7	20.5	29.2	-8.7	2.0	3.0	-1.0	69.5	60.9	8.6
下旬	9.1	7.2	1.9	15.7	13.0	2.7	2.4	1.5	0.9	27.5	17.9	9.6	1.0	3.0	-2.0	76.4	64.3	12.1
11月 上旬	4.6	5.9	-1.3	10.7	10.9	-0.2	-2.2	0.6	-2.8	7.5	28.7	-21.2	3.0	3.2	-0.2	62.0	49.4	12.6
中旬	3.3	2.9	0.4	8.8	7.7	1.1	-2.8	-2.2	-0.6	0.5	22.3	-21.8	1.0	2.9	-1.9	52.0	51.9	0.1

備考 1 観測値は、芽室アメダスのデータ。

2 平年値は平成26年～令和5年の10年平均値。

3 平均気温は毎時24回の平均値。

2. 当場の作況

1) 秋まき小麦

作況：平年並

事由：播種期は平年並、出芽期は平年より1日早かった。根雪始は平年より2日遅く、根雪終は平年より5日遅いため、積雪期間は4日長かった。起生期は平年より6日遅く、起生期の茎数は越冬前と同様にやや多かった。4月上旬から5月中旬の気温が高く推移したことから、出穂期は平年より4日早かった。6月中旬から7月上旬までの気温がかなり高く推移したことから、成熟期は平

年より8日早かった。平年と比べて稈長はやや長く、穂長は同程度、穂数は少なかった。7/1の強風により倒伏が“少”程度発生した。容積重、千粒重および2.2mm篩上率は平年並であり、子実重は平年比100%と平年並であった。検査等級は、1等であった。

以上のことから、本年の作況は平年並である。

表 B-4 十勝農試における令和6年度の秋まき小麦の作況調査成績

品種名		きたほなみ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期（月日）		9.21	9.21	0
出芽期（月日）		9.27	9.28	△ 1
起生期（月日）		4.6	3.31	6
出穂期（月日）		5.28	6.1	△ 4
成熟期（月日）		7.12	7.20	△ 8
葉数(枚)	10月20日	4.3	3.7	0.6
草丈 (cm)	10月20日	22.6	20.5	2.1
	5月20日	61.1	50.0	11.1
	6月20日	101.5	91.5	10.0
茎数 (本/㎡)	10月20日	757	536	221
	11月15日	1,328	1136	192
	起生期	1,977	1699	278
	5月20日	878	1,463	△ 585
	6月20日	682	765	△ 83
成熟期	稈長(cm)	89.0	81	8.0
	穂長(cm)	8.9	8.7	0.2
	穂数(本/㎡)	662	757	△ 95
子実重(kg/10a)		797	798	△ 1
同上対平年比(%)		100	100	0
リットル重(g)		841	840	1
2.2mm篩上率(%)		93.9	95.2	△ 1.3
千粒重(g)		38.3	39.4	△ 1.1
検査等級		1	1	－

備考 1 平年値は、前7か年中、令和3年収穫（豊作年）、平成30年収穫（凶作年）を除く5年平均。

年次は収穫年。

2 △は平年より早、少、短を表す。

2) 大豆

作況：良

事由：播種期は平年並の5月20日であった。播種後の降水量は平年並で土壌水分が十分にあったことから、出芽は斉一であった。出芽期は平年より1日早い5月30日で、出芽率はわずかに平年を下回った。6月下旬以降、高温多照に経過したため、開花始は平年より5日早かった。その後も平年より気温が高く推移し、成熟期は平年

より6日早かった。着莢数は平年を下回ったが、百粒重は平年並で、一莢内粒数は平年を大きく上回り、子実重は平年比111%と多収であった。屑粒率は平年より低く、検査等級は1等で平年を上回った。

以上のことから、本年の作況は良である。

表 B-5 十勝農試における令和6年度の大豆の作況調査成績

品種名		ユキホマレ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		5.20	5.20	0
出芽期(月日)		5.30	5.31	△ 1
出芽率(%) ³⁾		88.8	91.2	△ 2.4
開花始(月日)		7.8	7.13	△ 5
成熟期(月日)		9.16	9.22	△ 6
主茎長 (cm)	6月20日	14.6	13.3	1.3
	7月20日	64.7	66.6	△ 1.9
	8月20日	65.4	74.8	△ 9.4
	9月20日	64.2	73.7	△ 9.5
	成熟期	64.2	73.2	△ 9.0
主茎節数 (節)	6月20日	3.4	3.1	0.3
	7月20日	10.5	10.3	0.2
	8月20日	10.7	10.7	0.0
	9月20日	10.7	10.8	△ 0.1
	成熟期	10.7	10.7	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	6.8	5.1	1.7
	8月20日	6.3	5.3	1.0
	9月20日	6.3	5.0	1.3
	成熟期	6.2	5.1	1.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	68.2	76.1	△ 7.9
	9月20日	69.6	77.4	△ 7.8
	成熟期	69.6	77.1	△ 7.5
一莢内粒数(粒)		2.10	1.90	0.20
子実重(kg/10a) ⁴⁾		437	392	45
百粒重(g) ⁴⁾		37.5	37.2	0.3
屑粒率(%)		0.6	5.0	△ 4.4
品質(検査等級) ⁵⁾		1等	2中	
子実重対平年比(%)		111	100	11

備考 1 平年値は、前7か年中、令和4年(豊作年)及び平成30年(凶作年)を除く5か年平均である。

2 △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。

3 間引き直前に調査した値。

4 水分含量15%に換算した値。

5 農産物検査による等級。2等・3等は上・中・下に分けた。

3) 小豆

作況：平年並

事由：播種期は平年より2日早かったが、5月下旬～6月上旬が低温に経過したため、出芽期は平年より2～3日遅かった。出芽後、生育期間を通して高温に経過したことから開花始は平年より5日早く、成熟期は2～4日早かった。主茎長は、生育初期には少雨により抑制されていたものの、7月下旬の降雨により回復し、平年並からやや下回る程度となった。一莢内粒数は平年並からやや

下回り、百粒重は平年を下回ったものの、着莢数が平年を大きく上回ったことから子実重の平年比は「きたろまん」で103%、「エリモ167」で98%と平年並であった。屑粒率は平年をやや上回ったが、検査等級は平年より優った。

以上のことから、本年の作況は平年並である。

表 B-6 十勝農試における令和6年度の小豆の作況調査成績

品種名		きたろまん			エリモ167		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月日)		5.23	5.25	△ 2	5.23	5.25	△ 2
出芽期(月日)		6.11	6.8	3	6.11	6.9	2
開花始(月日)		7.17	7.22	△ 5	7.17	7.22	△ 5
成熟期(月日)		9.12	9.14	△ 2	9.12	9.16	△ 4
主茎長 (cm)	6月20日	3.6	4.1	△ 0.5	3.9	4.1	△ 0.2
	7月20日	16.8	22.3	△ 5.5	17.4	23.2	△ 5.8
	8月20日	70.3	69.7	0.6	62.7	69.8	△ 7.1
	9月20日	73.3	73.6	△ 0.3	65.3	72.7	△ 7.4
	成熟期	73.3	73.6	△ 0.3	65.3	73.4	△ 8.1
本葉数 (枚)	6月20日	0.7	0.5	0.2	0.7	0.5	0.2
	7月20日	7.5	6.9	0.6	8.1	7.1	1.0
	8月20日	15.6	12.3	3.3	17.4	13.3	4.1
主茎節数(節)	9月20日	16.4	15.2	1.2	17.7	16.2	1.5
	成熟期	16.4	15.1	1.3	17.7	16.3	1.4
分枝数 (本/株)	7月20日	3.5	2.9	0.6	3.3	2.7	0.6
	8月20日	3.0	3.0	0.0	3.1	4.0	△ 0.9
	9月20日	3.1	2.9	0.2	3.3	3.5	△ 0.2
	成熟期	3.1	2.8	0.3	3.3	3.5	△ 0.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	70.8	46.2	24.6	78.9	52.1	26.8
	9月20日	61.1	46.1	15.0	64.6	52.8	11.8
	成熟期	61.1	46.1	15.0	64.6	51.9	12.7
一莢内粒数(粒)		6.07	6.13	△ 0.06	5.70	6.09	△ 0.39
総重(kg/10a)		603	595	8	602	616	△ 14
子実重(kg/10a)		365	354	11	345	354	△ 9
百粒重(g)		15.0	16.5	△ 1.5	12.2	14.9	△ 2.7
屑粒率(%)		8.0	4.5	3.5	6.2	3.9	2.3
品質(検査等級)		2中	2下	－	2中	3上	－
子実重対平年比(%)		103	100	3	98	100	△ 2

- 備考 1 平年値は、前7か年中、令和3年(豊作年)及び令和2年(凶作年)を除く5か年平均である。
2 △は、平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
3 着莢数は、8月20日現在は莢長3cm以上、9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。
4 子実重及び百粒重は、水分含量15%に換算した値。
5 品質(検査等級)は、農産物検査による等級。2等・3等は上・中・下に分けた。

4) 菜豆

作況 不良

事由：播種期は平年より1日遅かった。播種後は低温に経過したため、出芽期は3日遅かった。その後は高温に経過したため、開花始は平年より3-6日、成熟期は6-8日早かった。草丈は平年より短く、主茎節数は平年並から少なく、分枝数は平年より多かった。

「雪手亡」では、着莢数は平年並で、一莢内粒数は少なく、百粒重は軽かった。子実重は平年比66%であった。

屑粒率はかなり高く、検査等級は“2中”と平年をやや下回った。

「大正金時」では、着莢数はやや少なく、一莢内粒数は平年並で、百粒重は軽かった。子実重は平年比68%であった。屑粒率はかなり高く、検査等級は“規格外”と平年をかなり下回った。

以上のことから、本年の作況は不良である。

表B-7 十勝農試における令和6年度の菜豆の作況調査成績

品種名		雪手亡			大正金時		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月日)		5.28	5.27	1	5.28	5.27	1
出芽期(月日)		6.9	6.6	3	6.11	6.8	3
開花始(月日)		7.13	7.16	△ 3	7.6	7.12	△ 6
成熟期(月日)		9.2	9.10	△ 8	8.23	8.29	△ 6
草丈 (cm)	6月20日	8.5	7.2	1.3	11.4	9.9	1.5
	7月20日	51.0	56.5	△ 5.5	40.1	47.0	△ 6.9
	8月20日	54.2	70.4	△ 16.2	38.6	49.8	△ 11.2
	成熟期	50.6	67.2	△ 16.6	38.6	51.3	△ 12.7
葉数 (枚)	6月20日	1.4	0.8	0.6	1.3	0.8	0.5
	7月20日	6.8	6.5	0.3	3.3	3.8	△ 0.5
	8月20日	6.8	6.9	△ 0.1	3.1	3.7	△ 0.6
主茎節数(節) 成熟期		8.8	8.7	0.1	5.1	5.8	△ 0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	11.8	7.7	4.1	8.0	7.0	1.0
	8月20日	9.2	8.0	1.2	7.5	6.4	1.1
	成熟期	8.7	7.4	1.3	7.5	6.2	1.3
着莢数 (莢/株)	8月20日	29.6	31.3	△ 1.7	16.3	17.6	△ 1.3
	成熟期	29.9	29.1	0.8	16.5	17.5	△ 1.0
一莢内粒数(粒)		3.89	4.40	△ 0.51	2.68	2.77	△ 0.09
総重(kg/10a)		535	665	△ 130	412	477	△ 65
子実重(kg/10a)		233	351	△ 118	159	235	△ 76
子実重平年比(kg/10a)		66	100	△ 34	68	100	△ 32
百粒重(g)		27.0	33.6	△ 6.6	55.3	64.1	△ 8.8
屑粒率(%)		69.7	8.1	61.6	82.9	32.4	50.5
品質(検査等級)		2中	2上	-	規格外	3上	-

備考 1 平年値は、前7か年中、平成30年(豊作年)及び令和2年(凶作年)を除く5か年平均である。

2 △は、平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。

3 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。

4 子実重、百粒重は水分含量16.0%に換算した値。

5 品質(検査等級)は、農産物検査規格に準じるものである。

5) 馬鈴しょ

作況：不良

事由：植付期は平年より1日遅い5月9日で、萌芽期は平年並〜2日遅かった。萌芽後、6月中旬以降の気温が高かったことから、開花始は平年より3日早かった。

「男爵薯」では、枯凋期は平年より2日早かった。上いも数が平年より少なく、上いもの平均重は軽く、上いも重は平年比60%と下回った。でん粉価は平年より3.2ポイント低かった。

「トヨシロ」では、枯凋期は平年より2日遅かった。塊茎の腐敗が17.2%発生した。上いも数は平年より少なく、上いもの平均重は平年並で、上いも重は平年比70%と平年を下回った。でん粉価は平年より1.7ポイント低かった。

以上のことから、本年の作況は不良である。

表 B-8 十勝農試における令和6年度の馬鈴しょの作況調査成績

品種名		男爵薯			トヨシロ		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月日)		5.09	5.08	1	5.09	5.08	1
萌芽期(月日)		5.28	5.28	0	5.31	5.29	2
開花始(月日)		6.22	6.25	△ 3	6.24	6.27	△ 3
枯凋期(月日)		8.16	8.18	△ 2	8.27	8.25	2
茎長 (cm)	6月20日	34.1	28.2	5.9	25.2	26.0	△ 0.8
	7月20日	48.1	47.9	0.2	50.4	62.2	△ 11.8
	8月20日	48.1	48.2	△ 0.1	50.0	63.5	△ 13.5
茎数 (本/株)	6月20日	6.4	4.2	2.2	3.0	3.0	0.0
	7月20日	6.9	4.4	2.5	3.0	3.1	△ 0.1
7月20日	上いも重(kg/10a)	1,796	2,773	△ 977	1,643	3,074	△ 1431
8月20日	上いも重(kg/10a)	2,403	4,086	△ 1683	3,542	4,393	△ 851
	同上平年比(%)	59	100	△ 41	81	100	△ 19
	でん粉価(%)	11.9	15.3	△ 3.4	14.2	16.2	△ 2.0
収穫期	上いも数(個/株)	10.9	12.7	△ 1.8	7.5	11.3	△ 3.8
	上いも一個重(g)	50	71	△ 21	91	88	3
	上いも重(kg/10a)	2,403	3,988	△ 1585	3,058	4,344	△ 1286
	中以上いも重(kg/10a)	1,044	2,977	△ 1933	2,685	3,668	△ 983
	でん粉価(%)	11.9	15.1	△ 3.2	14.1	15.8	△ 1.7
	平年比(%) 上いも重	60	100	△ 40	70	100	△ 30

備考 1 平年値は、前7か年中、平成29年(豊作年)及び令和2年(凶作年)を除く5か年平均である。

2 △は、平年より「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。

6) てん菜

作況：不良

事由：移植期は4月23日で平年より5日早く、移植後すぐに降雨があったことから、活着は順調であった。6月中旬から8月中旬まで気温は平年より常に高く推移した。生育期間の日照時間は平年並で、降水量は少なく、7月上中旬頃に干ばつの影響を受けた。収穫は平年より1日早い10月15日に行った。褐斑病が9月以降徐々に

発生し、収穫時に“中”程度の被害であった。根重は平年比100%であった。生育途中の干ばつと褐斑病の影響により、根中糖分は平年より1.95ポイント低い、平年比88%であり、糖量は同比88%であった。

以上のことから、本年の作況は不良である。

表 B-9 十勝農試における令和6年度のてん菜の作況調査成績

品種名		リッカ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		3.13	3.16	△ 3
発芽期(月日)		3.24	3.24	0
移植期(月日)		4.23	4.28	△ 5
収穫期(月日)		10.15	10.16	△ 1
草 丈 (cm)	5月20日	9.6	7.6	2
	6月20日	40.7	40.6	0.1
	7月20日	55.9	67.5	△ 11.6
	8月20日	53.2	71.7	△ 18.5
	9月20日	54.0	68.5	△ 14.5
生葉数 (枚)	5月20日	8.5	5.8	2.7
	6月20日	14.7	15.1	△ 0.4
	7月20日	17.7	23.8	△ 6.1
	8月20日	24.3	26.3	△ 2.0
	9月20日	27.0	28.3	△ 1.3
根 重 (kg/10a)	7月20日	2,332	2,763	△ 431
	8月20日	5,742	5,785	△ 43
	9月20日	7,773	7,652	121
根 重 (kg/10a)		7,845	7,818	27
根中糖分 (%)		14.33	16.28	△ 1.95
糖 量 (kg/10a)		1,123	1,273	△ 150
平年比 (%)	根重	100	100	0
	根中糖分	88	100	△ 12
	糖量	88	100	△ 12

備考 1 平年値は、前7か年中、令和3年（豊作年）及び令和5年（凶作年）を除く5か年平均である。

2 △は、平年より「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。

3 本年より収穫時の茎葉重ならびに T/R 比の調査を行わない。

C 試験研究および地域支援活動の概要

1. 豆類畑作グループ

〔大豆育種関連〕

大豆新品種育成は、経常研究「大豆品種開発事業Ⅱ」（令和2～6年）において、障害抵抗性の複合化、豆腐等加工適性の向上を中心とした36組合せの交配を行い、冬季F1養成を実施した。F2～F3世代は集団育種法、F4世代以降は系統育種法により選抜・世代を進めた。育成系統生産力検定予備試験には46品種系統を供試して収量・品質調査を行うとともに、耐病虫性検定および系統適応性検定等を実施した。十系13系統を継続とし、新たに18系統に十系番号を付した。生産力検定試験には、やや早生黄大豆で豆腐・煮豆用の「十育280号」、中生黄大豆で豆腐・煮豆用の「十育282号」、黒大豆「十育281号」を供試して、収量・品質調査および耐冷性、耐病虫性検定を行うとともに優良品種決定調査、加工適性試験（実需者試験含む）等を実施した。また、供試保留としていた中生黄大豆「十育274号」は、中央農試での播種期試験を行った。これら試験の結果から、黄大豆については「十育280号」「十育282号」、「十育274号」を廃棄とした。黒大豆については「十育281号」を継続検討として優決現地試験にも供試することとした。

〔小豆育種関連〕

小豆新品種育成は、経常研究「小豆品種開発事業Ⅱ」（令和2～6年）において、コンバイン収穫適性を向上させる等、ニーズに応える将来の品種開発に向けた材料を養成するため、32組合せの人工交配を行い、交配後の材料は、F1世代の冬季温室利用による養成後、F2～F4世代を主に集団育種法（一部F3世代は春季暖地による世代促進を含む）、F5世代以降は系統育種法により選抜・世代を進めた。育成系統生産力検定予備試験には普通小豆28系統、大納言2系統（うち系統適応性検定試験として中央農試に19系統、道南農試に5系統）、小規模生産力検定予備試験には129系統（うち中央農試に51系統、道南農試に15系統）を供試し、収量、品質の評価を行い、併せて耐病性（落葉病・茎疫病・萎凋病レース抵抗性）、耐冷性（低温育種実験室）等の特性検定試験を実施した。これらの試験結果から、胚軸長がやや長くコンバイン収穫向け系統である「十系1475号」を「十育

189号」として地方番号を付し、十系7系統を継続検討とした。この他新たに28系統に十系番号を付した。生産力検定試験および各種特性検定試験、優良品種決定調査等には、コンバイン収穫向け系統「十育187号」、大納言系統「十育188号」の計2系統を供試した。「十育187号」は、倒伏耐性に優れ、地上10cm莢率がやや低くコンバイン収穫適性に優れるものの、子実重は試験地により傾向が異なったことから、優決基本調査において再検討とした。「十育188号」は、成熟期がやや遅いものの、子実重や品質に優れることから継続検討とした。ただし健全種子確保の見通しが立たないことから、基本調査にのみ供試することとした。

〔菜豆育種関連〕

「菜豆新品種育成試験」では、良質、多収、病虫害抵抗性を目標に冬季温室で交配し、集団育種法で選抜した。小規模生産力検定予備試験に手亡22系統、金時62系統、白金時6系統、洋風料理向け赤いんげんまめ15系統、解析材料4系統、生産力検定予備試験に手亡6系統、金時10系統、白金時4系統を供試した。また、耐病性（黄化病、炭そ病）の特性検定試験を実施した。これらの試験結果から、手亡4系統、金時10系統、白金時2系統に十系番号を付した。また、十系系統のうち、手亡2系統、金時1系統、白金時1系統を継続検討とした。生産力検定試験（優良品種決定基本調査）および特性検定試験には、金時「十育B87号」および白金時「十育E14号」の2系統を供試し、そのうち「十育E14号」は合わせて優良品種決定現地調査に供試した。「十育B87号」は収量性および加工適性を確認するため、次年度は基本調査3年目で継続検討とした。「十育E14号」は多収で外観品質が優るため、次年度は基本調査3年目、現地調査2年目で継続検討とした。

〔畑作研究関連〕

てん菜は、「輸入品種検定試験」（優決基本相当）において、9系統の糖量等を対照品種と比較検討した。「特性検定試験」では褐斑病と根腐病について試験を実施した。「直播栽培に適した病害抵抗性と収量特性を示すテンサイ品種候補の開発」では、直播栽培での収量性評価およびUAVによる生育解析を行った。「てん菜糖分計測用近赤外分光システムの改良型光学系の

開発」では、工業試験場と共同で省力化に寄与する分光計測装置を試作した。

秋まき小麦は、「地域適応性検定試験」（優決基本相当）において3系統の収量性や障害耐性等を対照品種と比較検討した。「気象変動に対応した高品質で安定生産可能な道産小麦の開発促進」では、北見農試育成の17系統、北農研育成の2系統、北見・北農研共同育成の5系統について穂発芽性検定を実施し、育成系統改廃の参考とした。また、北見農試育成の系適世代11系統の十勝農試における適応性を検討するとともに、一部の系適系統においてUAVによる葉面温度を測定し、多収系統選抜の解析を行った。「麦類新優良品種普及促進事業」における種子増殖はなかった。

春まき小麦では、「地域適応性検定試験」および「春まき小麦の品種選定試験」（優決基本相当）において3系統の適応性を検討した。

馬鈴しょは、「地域適応性検定試験」および「輸入品種等選定試験」（優決基本相当）において、生食用3系統、加工用4系統、でん粉原料用2系統について適応性を検討した。「地域適応性検定試験」の系適相当試験において、加工用3系統、でん粉原料用2系統について適応性を検討した。

2. 農業システムグループ

〔栽培システム・スマート農業研究関連〕

令和6年度は8課題を実施した。そのうち令和6年度が最終年度となる課題は2課題で、北海道農業試験会議に提案した課題は1課題である。

「リモートセンシングと圃場情報を活用した干湿害多発農地の診断手法の開発」では、生産技術Gと共同して、衛星リモートセンシングで取得した土壤水分環境や作物生育の情報、既存の土壤群、地形区分等の地理情報を活用し、畑地における排水不良域を推定する手法を開発し、本手法に基づき実施した部分施工は、効率的な土層改良に有効であると評価されたことから、生産技術部会において指導参考事項と判定された。

「小豆コンバイン収穫向け系統における選抜・評価体系の最適化と開発強化」では、豆類畑作Gと共同して、研究期間中に新品種「きたいろは（十育180号）」の育成、十育3系統の選抜とともに、省力的な頭部損失調査方法を確立した。また、「きたいろは」の大型コンバインによる収穫適性評価から「きたろまん」より収穫損失が少ないことを明らかにした。以上より、当初の研究目標を達成したとして、計画通り研究を終

了した。

次年度も継続する6課題のうち、栽培システム関連は3課題、スマート農業技術関連が3課題である。

栽培システム関連で実施中の3課題のうち、「豆類育種試験におけるプロットコンバイン導入に関する効率化実証研究」では、豆類畑作Gと共同して、大区画試験区を用いたプロットコンバイン収穫の有用性実証試験を大豆・小豆・菜豆それぞれについて実施し、収穫損失や損傷粒の発生状況を確認した。また、小区画試験区を用いた効率的利用方法の確立実証研究では、プロットコンバインの導入により慣行の手刈り収穫から作業時間の大部分を占める脱穀作業分が効率化できる可能性があることを確認した。

「かぼちゃピックアップ収穫機の活用による省力収穫体系の確立」では、機械収穫で果実の腐敗が助長されないこと、および現地調査から省力化の可能性を確認できた一方、場内試験では安定した連続作業に至らなかったことから、研究期間を令和7年度まで延長し、作業安定化のための対策効果を検証することとなった。

「ブロッコリー省力生産体系の構築に向けた機械一斉収穫技術の確立」では、適期培土が倒伏や曲がり株率を軽減する効果と、直播直後の灌水処理が出芽率を向上させる効果を確認した。また、ブロッコリー収穫機による収穫試験から、花蕾の軸を挟む下部搬送ベルト（下部ベルト）と花蕾を挟む挟持ベルト（上部ベルト）の速度比によって花蕾の損傷率が変動することを明らかにした。

スマート農業技術で実施中の3課題のうち、「複数畑作物のセンシングデータによる生育阻害要因判定手法の確立」では、圃場内におけるNDVIのばらつきに基づいて判定対象圃場を限定することでてんさいNDVIと土壌pHが有意な相関を示すことが確認できた。また、てんさいのNDVIに加えて他作物のNDVIを用いて低pH地点を判定することで、てんさいのNDVIのみで判定した場合と比較して、判定精度が向上することを明らかにした。

「秋まき小麦および大豆狭畦栽培の可変播種技術適用による生産安定化」では、秋まき小麦において保水性不良で栽植本数不足が懸念される地点は、起生期茎数や穂数が少なく、収量低下傾向が確認された。一方、保水性不良地点において播種量を増やすと出芽数、茎数および穂数は増加したが、越冬前主茎葉数、茎数および穂数は道東の安定生産に向けた生育の目安を超過する結果となった。狭畦大豆では保水性不良地点にお

いて着莢数および粒数が減少し、子実重が低下した。一方、保水性不良地点では栽植密度を高めると、出芽数が増加し、主茎長および最下着莢位置が上昇し、分枝数が減少する一方で子実重は同程度であり、倒伏は発生しなかった。

「豆類主要病害虫に対する農薬散布用ドローンを用いた防除効果と散布特性の評価」では、生産技術Gと共同して、小豆および菜豆の主要病害虫を対象としたドローンによる防除試験と、農薬散布用ドローンの薬液散布特性評価試験を実施した。

いんげんまめの灰色かび病および菌核病に対する防除試験では対象病害が極少発生であったため、防除効果は明らかにならなかった。小豆のアズキノメイガに対する防除試験では、ドローン散布は地上散布に比較して防除効果が劣る結果であった。

散布特性評価試験では、ダウンウォッシュは機体の重量に比例して増加する傾向が確認され、被覆面積率は積載量が多く機体重量が重いほど高い傾向にあった。

〔経営研究関連〕

令和6年度は主に3課題を実施した。

令和6年度からの開始課題である「農業生産における温室効果ガス排出量の見える化と評価手法の確立」では、道東畑作地帯における秋小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ、スイートコーンの作業体系・資材利用の調査を実施し、温室効果ガスを推計した。また、主管場である中央農試と協議して、平成25年に成績提案したマニュアルの改善案を整理した。

今年度が2年目の課題である「組勘を活用した原価計算の簡便化と原価の推計手法の検討」では、Y町で17戸の調査を実施した。また、組勘における科目コード、適用コードごとの合計値から作付面積・当年産収入を用いて按分した場合の推計誤差を確認した。

終了課題である「持続可能な農村集落の維持・向上と新たな産業振興に向けた対策手法の確立 2-2)自治体の事業化戦略を支えるコンサルティング手法の検証と普及拡大」では、コンサル手法を活用した5事例を基に、活用事例集を作成した。また、自治体職員等を対象とした道総研まちづくり塾2024や北海道市町村職員政策研修会、普及指導員を対象とした普及推進会議（高付加価値化）や十勝管内普及指導員研修会で、コンサル手法の普及拡大に向けてコンサル手法を紹介した。

3. 生産技術グループ

〔栽培環境研究関連〕

令和6年度の一般試験研究課題は9課題である。

新規課題は3課題で「肥料価格高騰と養分収支を考慮した直播てんさいとたまねぎに対する適正施肥量の確立」（北見農試、花野菜セと共同）では、てんさいを対象に、肥料価格を考慮したリン酸やカリの適正施肥量を検討した。

「メタン発酵消化液を用いた「てん菜」における栽培実証試験」（単年度）では、てんさいに対する消化液の肥料的効果を検討した。

「秋まき小麦および大豆狭畦栽培の可変播種技術適用による生産安定化」（農業システムG、中央農試と共同）では、秋まき小麦および大豆において衛星NDVI画像から栽植本数不足地点の抽出する手法および可変播種技術を検討した。

継続課題は「脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト（3）1. 有機性資源の営農利用を促進する施肥等の資源代替技術の開発」、「肥料価格変動に応じたばれいしょ適正施肥量の設定」（上川農試と共同）、「複数畑作物のセンシングデータによる生育阻害要因判定手法の確立」（農業システムG、中央農試と共同）、「農作物病害虫生理障害診断・緊急対策試験」の4課題である。

終了課題は2課題で「畑作物に対する肥効調節型肥料の施用効果試験」（北見、上川農試と共同）では、直播てんさいおよび加工用ばれいしょに対するプラスチックを用いない肥効調節型肥料の窒素溶出特性と施用効果を検討した。本課題で得られた成果について成績会議に提出し指導参考事項に判定された。

「リモートセンシングと圃場情報を活用した干湿害多発農地の診断手法の開発」（中央、北見農試ほかと共同）では、衛星リモートセンシングで取得した土壌水分環境や作物生育の情報、既存の土壌群、地形区分等の地理情報を活用し、湿害リスクが高い排水不良域を推定する手法を検討した。本課題で得られた成果について成績会議に提出し指導参考事項に判定された。

土壌調査・モニタリング関連課題は4課題である。

「農地土壌炭素貯留量等基礎調査事業（農地管理実態調査）」では、場内輪作体系において堆肥施用・残渣すき込みによる土壌炭素量等を測定した。

「国内資源の肥料利用拡大に向けた調査（地力調査）」では、清水町8地点、鹿追町8地点において農地および草地における地力の実態を調査した。「環境保全型

有機質資源施用基準の設定調査」では、清水町8地点、鹿追町8地点において土壌理化学性の実態と変化を調査した。「農業農村整備事業に係る土壌調査」では、土地改良事業5地区（帯広市1、鹿追町1、上士幌1、幕別町1、豊頃町1）で土壌調査を行った。

肥料および土壌改良剤では、ばれいしょを対象とした1資材の効果と実用性を検討した。

〔病虫研究関連〕

「発生予察調査」の定点圃場で発生量の多かった病害虫は、秋まき小麦の赤さび病、大豆のマメシンクイガ、小豆のマメアブラムシ、てんさいの褐斑病、てんさいのテンサイトビハムシ、シロオビノメイガおよびあぶらな科野菜のコナガであった。

新発生病害虫として道内では4病害8害虫が確認された。十勝管内に関係するものは、ベにばないんげんのマメノメイガ（新寄主）、小豆のマイコセントロスポーラ斑点病（新称・国内新発生）およびせんきゅうのナミハダニ（新寄主）があげられる。

「病害虫診断試験」では74件（病害33件、虫害12件、その他29件）の診断依頼に対応した。依頼の多かった病害虫は、秋まき小麦の萎縮病、菜豆のモザイク病、ばれいしょ塊茎の腐敗症状およびはくさいの黄化病であった。

令和6年度の一般試験研究課題は9課題である。

新規課題は2課題で「豆類主要病害虫に対する農薬散布用ドローンをを用いた防除効果と散布特性の評価」（農業システムGと共同）では、小豆および菜豆の病害虫を対象に、農薬散布用ドローンの薬剤散布特性の検討および地上散布との防除効果の比較を行った。

「ダイズシストセンチュウ抵抗性を有する小豆有望系統の育成強化」では、小豆有望系統のダイズシストセンチュウに対する抵抗性評価および抵抗性小豆の導入効果の検討を行った。

継続課題は、「ジャガイモ黒あし病の種いも保菌に及ぼす地上部軟腐症状のリスク評価と対策」、「はくさいとスイートコーンにおけるマキバカスミカメの防除対策の確立」、「安定的多収を目指した菜豆新品種の開発強化」（豆類畑作Gほかと共同）の2課題である。

終了課題は5課題である。「テンサイ褐斑病抵抗性“かなり強”を超える系統に対する防除技術の開発」では、テンサイ褐斑病抵抗性極強品種を活用した省力的な褐斑病防除技術を検討した。本課題で得られた成果について成績会議に提出し指導参考事項に判定され

た。「センキュウベと病の防除技術の確立」は3カ年続けてべと病が発生しなかったため、委託元へ結果を報告し、課題を終了する。「省力・低コスト病害防除技術開発に向けた播種時・移植時処理薬剤の探索」は、抵抗性誘導剤の育苗ポット灌注処理による省力的で低コストな防除法を検討したが、効果が認められた薬剤が未登録のため、登録後に成績会議への提案を検討する。「気象変動に対応した高品質で安定生産可能な道産小麦の開発促進（第3期）」は、引続き次年度開始の「気象変動に対応した高品質で安定生産可能な道産小麦の開発促進（第4期）」で赤かび病の抵抗性評価を行う。「安定的多収を目指した菜豆新品種の開発強化」は、引続き次年度開始の「耐病性に優れる菜豆品種の開発促進」でインゲンマメ黄化病の抵抗性評価を行う。

「農薬の実用化試験」では10作物の46点（うち、マイナー作物農薬登録試験0点）について防除効果と実用性の評価を行った。過年度を含めて十勝農試が試験を実施した殺菌剤9点、殺虫剤1点は成績会議で実用性があると判定され指導参考事項となった。

〔園芸研究関連〕

令和6年度の一般試験研究課題は2課題である。

継続課題は1課題で、「ブロッコリー省力生産体系の構築に向けた機械一斉収穫技術の確立」（農業システムGと共同）である。

終了課題は1課題で、「道産かぼちゃ3トンどり省力栽培法と長期安定出荷技術の開発」（花・野枝セ、中央農試と共同）は、花・野枝セ、中央農試担当の貯蔵試験が令和7年春まで実施されるため、令和7年度の成績会議に提出予定である。

その他、「除草剤および生育調節剤の実用化試験」では、ブロッコリー1剤の効果と実用性を検討した。

〔地域支援関連〕

十勝管内の農業および関連産業が直面する課題に迅速かつ的確に対応するため、試験研究機関、普及組織および総合振興局が連携し地域農業を支援する十勝地域農業技術支援会議に事務局として参画した。今年度の「地域農業関連要望課題」として27課題の要望があった。要望団体へは聞き取り調査等を行い、迅速な課題解決の推進を図った。

十勝地域農業技術支援会議の今年度のプロジェクト課題として、「落花生の安定生産に向けた取り組み」に取り組み、芽室町内6か所の圃場において栽培方法

についての聞き取りと生育と収量の調査を行い、場内圃場で栽培試験を行い、「十勝地域における落花生栽培 Q&A 集」として生産者と JA に提示した。

革新的技術の迅速な普及を図るための「十勝地域における手亡新品種「十育 A65 号」の実証栽培試験では、管内主産地に 2 ヶ所の実規模栽培圃場を設置し、生育と収量の調査を行った。生産物は全量引き上げ、次年度実需による製品試作試験を実施予定。

D 試験研究および地域支援活動の課題名

1. 豆類畑作グループ

〔大豆育種研究関連〕

1) 大豆新品種育成 (大正 2 年～継続)

(1) 大豆品種開発事業Ⅱ (令和 2～6 年)

目的) とよまさり銘柄大豆、納豆用小粒大豆、および黒豆等特定用途用大豆の、安定供給に資する系統を開発する。また、超多収、省力栽培対応など、将来に向けた育種母材を養成する。

2) 大豆優良品種決定調査 (昭和 29 年～継続)

目的) 育成中の有望系統及び品種について、諸特性及び生産力を調査し、現地における適応性を明らかにして、優良品種決定の資料とする。

3) 虫媒受粉制御とゲノミック予測の融合によって新規育種素材を創出する大豆循環選抜育種法の開発 (令和 4～6 年)

目的) 循環選抜とゲノミック予測を組み合わせた新たなダイズ多収育種法を開発するため、循環交配により多収品種のゲノムを混合するとともに収量性のゲノミック予測モデルを作成する。

4) 国内生産力の強化を図るための加工適性を有する極多収ダイズ系統および病虫害複合抵抗性のダイズ系統の開発 (令和 5～7 年)

目的) 北海道品種の大豆生産安定性をさらに向上させるため、海外品種を母材に用いた交配後代から、ダイズシストセンチュウ (以下、SCN) レース 3 抵抗性を有し、栽植様式改良と組み合わせで収量が標準品種対比 130%以上の系統を 1 以上開発する。また、SCN レース 3、SCN レース 1、ダイズわい化病、ダイズモザイク病のうち 2 つ以上に抵抗性を有し、収量が標準品種比 110%程度の系統を 1 以上開発する。

5) 寒地向け高タンパク質育種素材の選抜と検証 (令和 5～9 年)

目的) タンパク質含量と収量性の積である「タンパク質収量」の最大化を目指し、品種開発の母本として利用可能な育種素材を開発する。また、メタボローム解析等を用いた関与する代謝物質の推定とその定量方法

を確立し、ゲノム解析による原因遺伝子の推定および高タンパク質系統を選抜可能な DNA マーカーの開発を目的とする。

〔小豆育種研究関連〕

1) 小豆新品種育成 (昭和 29 年～継続)

(1) 小豆品種開発事業Ⅱ (令和 2～6 年)

目的) 早生耐冷性の有望系統、「とよみ大納言」並の収量性で土壌病害抵抗性を持ち大粒の大納言の有望系統を育成する。コンバイン収穫適性を向上させる等、ニーズに応える将来の品種開発に向けた材料を養成する。

2) 道央地域で安定生産できる中晩生小豆品種の開発強化 (令和 5～7 年)

目的) 茎疫病抵抗性に関係する DNA マーカーを開発し、有効性を検証し、抵抗性系統を効率的に選抜する。また、初期世代から道央地域の気象条件下で選抜を行い中晩生小豆品種の開発を強化する。

3) ダイズシストセンチュウ抵抗性を有する小豆有望系統の育成強化 (令和 6～8 年)

目的) DNA マーカー選抜を活用した反復戻し交配と抵抗性検定により、「エリモ 167」に SCN 抵抗性を導入した十系系統を選抜する。SCN 抵抗性反復戻し交配系統を活用した新規交配を行う。畑輪作における SCN 抵抗性小豆の導入効果を検証する。

4) 小豆の障害抵抗性に優れる品種開発促進 (令和 4～6 年)

目的) 耐冷性・耐病性に優れる小豆品種の早期開発のため、品種開発を強化する。あわせて、初期世代集団では温室・暖地を用いた世代促進試験により育種年数を短縮する。

5) 小豆コンバイン収穫向け系統における選抜

・評価体系の最適化と開発強化 (令和 4～6 年)

目的) 中後期世代系統からコンバイン収穫向け選抜指針による選抜を強化し、コンバイン収穫向け有望系統

のヘッドロスの評価を行い、損失の低下を実証する。
多様な草型を有する多数の遺伝資源を供試し、コンバイン収穫時の低損失に寄与する長胚軸性以外の形質を抽出する。また、ヘッドロスの省力的な評価手法を確立する。

6) 小豆における食味評価法確立と加工適性に

優れる高温適応性系統の選抜強化(令和4～6年)

目的) 小豆の食味評価法を確立し、新たな食味評価法による中期世代からの検定・選抜に活用するとともに、簡易製餡による加工適性評価を実施し、良品質品種育成の資とする。また、温暖な道南地域における現地選抜試験を実施し、高温条件下で高い生産性を発揮する系統を選抜する。

7) 紫色色素の分析を基盤とした加工特性を向上させた小豆の育種を目指す開発試験

(令和4～6年)

目的) 確立した種皮および餡に含まれる紫色色素の定量分析法を用い、十勝農試で保有する品種及び育種中の小豆、農研機構遺伝資源研究センターの保有する原種や外国産小豆の種皮の紫色色素含有量を網羅的に分析する。新たに確立した紫色餡を得る小豆の製餡加工手法による製餡方法で製餡試験を実施し、餡に含まれる紫色色素含有量を分析する。

8) 小豆ゲノム育種基盤の構築による除草剤耐性マーカーの開発(令和5～7年)

目的) 小豆のゲノム育種基盤を構築して、除草剤耐性マーカーを開発し、除草剤耐性の選抜強化を図る。

9) 小豆の開花期高温抵抗性評価法の検討

(令和6～7年)

目的) 落花・落莢に影響を及ぼす開花期高温抵抗性に関する評価法開発のための処理条件を明らかにする。

10) 優決 小豆(昭和46年～継続)

目的) 小豆育成系統について現地における適応性を検定し(優決現地相当)、優良品種決定の資とする。

〔菜豆育種研究関連〕

1) 菜豆新品種育成試験(昭和29年～継続)

(1) 良質、耐病、多収品種育成試験

目的) 良質、多収、耐病性の品種を育成する。

(2) 育成系統生産力検定試験

目的) 育成系統の生産力を検定する。

(3) 品種及び育成系統の栽培特性検定試験

目的) 品種及び育成系統の栽培条件を異にする場合の適応性を検定する。

(4) 炭そ病抵抗性検定試験

目的) 育成系統の炭そ病抵抗性を検定する。

2) 安定的多収を目指した菜豆新品種の開発強化(令和4～6年)

目的) 菜豆主産地ほ場を活用した栽培適性と加工適性に優れる系統の選抜強化、炭そ病および黄化病抵抗性の選抜と検定、突然変異育種法の新規活用を行う。また、冬季温室交配と暖地での初期世代集団養成で世代促進を行い、多収性・耐病性・加工適性に優れる品種開発促進を行う。

3) リモートセンシング型の収量評価および実需者型の加工適性評価を活用した金時系統の選抜強化(令和5～7年)

目的) 多数の育成材料から短時間で植生指数データを獲得し、多収性選抜への適用性を確認することで、迅速な多収品種開発の基盤をつくる。多様な加工形態における美味しい煮豆特性を明らかにし、有望系統の煮豆加工特性が実需者の評価を含めて早い世代から評価を行う。

4) ゲノム育種法を活用した多収およびダイズシストセンチュウ抵抗性金時の開発促進

(令和5～7年)

目的) 新たなゲノム育種法を導入することにより、多収系統の選抜、ダイズシストセンチュウ抵抗性領域の検出を行い、安定多収の金時品種の選抜強化を図る。

5) 優決 菜豆(昭和46年～継続)

目的) 菜豆育成系統について現地における適応性を検定し(優決現地相当)、優良品種決定の資とする。

〔豆類栽培研究関連他〕

1) 豆類育成系統の普及見込み地帯における実規模試験栽培(令和6年)

目的) 豆類有望系統について、実規模栽培での普及性を評価するため、普及が見込まれる地域の圃場で試験栽培を行い、生育特性・収量性等を明らかにする。

2) 作物モデルを用いた小豆および菜豆の作期

推定(令和5～7年)

目的) 小豆・菜豆の品種ごとに、播種期が生育に与える影響を解析し、栽培可能期間を推定するとともに、発育に関する作物モデルを作成する。これらを用いて、低温や霜を避けるための作期および秋まき小麦の前作となる作期を1kmメッシュで示す。

3) 小豆・菜豆の革新的育種システム構築による新品種開発強化(令和3～5年)

目的) 小豆・菜豆の新たな戻し交配・世代促進技術を確認し、耐暑性・耐冷性等の新たな環境適応性評価技術を確認し、加えて育種データベース構築と育種年限短縮・選抜効率化の実証を行う。このことにより、新たなニーズに対応する、環境適応性の高い新品種の早期開発を強化する。

4) 豆類育種試験におけるプロットコンバイン導入に関する効率化実証研究(令和5～9年)

目的) プロットコンバインを利用した子実重・子実品質・作業時間等を従来の手刈り体系と比較することで、プロットコンバインの導入効果を明らかにする。

〔畑作研究関連〕

(てん菜に関する試験)

1) てん菜輸入品種検定試験(令和6～10年)

(1) 生産力検定試験

目的) てん菜輸入品種について、十勝農試における生産力検定を行い(優決基本相当)、優良品種決定の資料とする。

(2) 褐斑病抵抗性検定試験

目的) 有望な輸入品種について、褐斑病抵抗性を検定し、優良品種決定の資料とする。

(3) 根腐病抵抗性検定試験

目的) 有望な輸入品種について、根腐病抵抗性を検定し、優良品種決定の資料とする。

2) 直播栽培に適した病害抵抗性と収量特性を示すテンサイ品種候補の開発(令和6～7年)

目的) 北海道内各地において、既存の優良品種の直播収量性を評価するとともに、直播および移植栽培での地上部生育差と収量差の関連性を検証する。

3) てん菜糖分計測用近赤外分光システムの改良型光学系の開発(令和6年)

目的) 現在のてん菜糖分測定方法と同程度の精度と測

定時間を維持しつつ作業人数削減を実現するため、近赤外分光法を用いて安定したスペクトルデータの計測を可能とする改良型光学系を開発する。

(麦類に関する試験)

4) 畑作物の地域適応性検定試験(秋まき小麦)

(昭和29年～継続)

目的) 秋まき小麦の有望系統について、十勝農試および十勝管内における生産力等を検定し(優決基本・現地相当)、優良品種決定の資料とする。

5) 優決 麦類(秋まき小麦)(昭和33年～継続)

目的) 秋まき小麦の育成系統について、十勝管内における適応性を検定し(優決現地相当)、優良品種決定のための資料とする。

6) 畑作物の地域適応性検定試験(春まき小麦)

(昭和29年～継続)

目的) 春まき小麦の有望系統について、十勝農試における生産力等を検定し(優決基本相当)、優良品種決定の資料とする。

7) 春まき小麦の品種選定試験(令和3～7年)

目的) 春まき小麦のホクレン育成系統について、十勝農試における生産力等を検定し(優決基本相当)、優良品種決定の資料とする。

8) 気象変動に対応した高品質で安定生産可能な道産小麦の開発促進(第2期)(令和4～6年)

2) 地域の生産および品質安定に向けた障害・病害抵抗性と収量性の選抜強化

(2) 雨害耐性および茎葉病害抵抗性の選抜強化 ①穂発芽性の選抜と検定強化(穂発芽特検・秋まき小麦)

目的) 育成系統の穂発芽性を検定し、新品種育成の資料とする。

(6) 地域の気象条件に対応した系統の選抜強化 ③十勝地域への適応性の評価(秋まき小麦 系適相当)

目的) 系適世代の育成系統の生産力等を検定し、有望系統選抜の資料とする。

(新優良品種普及促進事業)

9) 麦類新優良品種普及促進事業

(昭和41年～継続)

目的) 優良品種候補とみなされる有望系統について、新品種決定と同時に種子供給できるよう増殖を行う。

(馬鈴しょに関する試験)

10) 畑作物の地域適応性検定試験(馬鈴しょ)

(平成13年～継続)

目的) 馬鈴しょの有望系統について、十勝農試における生産力等を検定し(優決基本相当)、優良品種決定の資料にする。

11) 馬鈴しょ輸入品種等選定試験

(令和3～7年)

(1) 生産力検定試験

目的) 馬鈴しょ輸入品種等について、十勝農試における適応性を検定し(優決基本相当)、優良品種決定のための資料とする。

(2) 現地試験

目的) 馬鈴しょ輸入品種等について、十勝管内における適応性を検定し(優決現地相当)、優良品種決定のための資料とする。

12) 優決 馬鈴しょ(昭和50年～継続)

目的) 馬鈴しょ育成系統について、十勝管内における適応性を検定し(優決現地相当)、優良品種決定のための資料とする。

(新農業資材の実用化試験)

13) 除草剤及び生育調節剤(昭和31年～継続)

目的) 畑作物に対する各種除草剤及び生育調節剤の実用性を検討する。

2. 農業システムグループ

〔栽培システム・スマート農業研究関連〕

1) 小豆コンバイン収穫向け系統における選抜・評価体系の最適化と開発強化(令和4～6年)

目的) 豆類畑作グループの項に記載

2) 豆類育種試験におけるプロットコンバイン導入に関する効率化実証研究(令和5～9年)

目的) 豆類畑作グループの項に記載

3) かぼちゃピックアップ収穫機の活用による省力収穫体系の確立(令和5～6年)

目的) かぼちゃピックアップ収穫機による拾い上げ性能と、効率的な収穫のための前処理要件を解明し、作業時間を20%程度削減した省力収穫体系を確立する。

4) ブロッコリー省力生産体系の構築に向けた機械一斉収穫技術の確立(令和6～8年)

目的) ブロッコリーの機械一斉収穫への適応性を高める直立性および斉一性向上を目指した栽培技術の開発と、花蕾損傷率を低減するための収穫機の改良を行い、花蕾径10～18cmかつ無傷の歩留を現状の50%から80%に向上する技術を確立する。現地実証による開発技術の有効性評価、および機械一斉収穫した花蕾の実需評価を行い、収穫機の円滑な導入を可能にし、道内ブロッコリー作付けの維持拡大に貢献する。

5) 複数畑作物のセンシングデータによる生育阻害要因判定手法の確立(令和5～7年)

目的) 複数畑作物の衛星リモートセンシングデータに基づく圃場内の生育阻害要因の判定手法を開発し、畑輪作体系の中に適用すべき生育改善策の決定手順を提示する。

6) リモートセンシングと圃場情報を活用した干湿害多発農地の診断手法の開発

(令和3～6年)

目的) 生産技術グループの項に記載

7) 秋まき小麦および大豆狭畦栽培の可変播種技術適用による生産安定化(令和6～8年)

目的) 秋まき小麦および大豆において衛星NDVI画像から栽植本数不足地点の抽出手法を開発するとともに、可変播種技術を開発し、抽出した地点における収量改善効果を検証する。

8) 豆類主要病害虫に対する農薬散布用ドローンを用いた防除効果と散布特性の評価

(令和6～8年)

目的) 生産技術グループの項に記載

〔経営研究関連〕

1) 持続可能な農村集落の維持・向上と新たな産業振興に向けた対策手法の確立

(令和2～6年)

目的) 生活基盤と産業振興に支えられた安全で持続可能な地域社会を実現するため、地域・集落機能の維持・再編に向けた運営システムに関する研究や、産業振興の視点からの地域づくりに向けた研究に取り組むことにより、地域の安定的な維持・発展に貢献する。

2) 組働を活用した原価計算の簡便化と原価の推計手法の検討（令和5～7年）

目的) 更なるコスト低減の取組や作物ごとの収益性の改善に寄与するため、耕種経営を対象とした作物別の原価計算の簡便化と原価の推計手法の検討をおこなう。

3) 農業生産における温室効果ガス排出量の見える化と評価手法の確立（令和6～8年）

目的) 主要な農作物（水稻、小麦、大豆、ばれいしょ、てんさい）と園芸作物（たまねぎ、スイートコーン、かぼちゃ、にんじん、施設栽培によるトマト等）について、普及・定着している栽培工程に着目して、温室効果ガス排出量を推計し、見える化する。また、実際の推計作業を進める工程で、作業手順や最新の原単位等を整理し、既存の温室効果ガス排出量の推計マニュアル（平成25年行政参考事項）を更新する。

3. 生産技術グループ

〔栽培環境研究関連〕

（施肥法改善・土壌管理改善）

1) リモートセンシングと圃場情報を活用した干湿害多発農地の診断手法の開発

（令和3～6年）

目的) 水田転作畑地帯や大規模畑作地帯において、リモセン情報と圃場情報を活用し、干湿害対策の要否的中率8割以上で判定し、土壌特性に対応した適切な工法を選択する診断手法を開発する。

2) 脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト（3） 1. 有機性資源の営農利用を促進する施肥等の資源代替技術の開発

（令和3～7年）

目的) 消化液の土中への注入が可能なスラリーインジェクターの活用により、悪臭の原因となるアンモニア揮散の抑制と畑作物の減化学肥料栽培が両立することを実証する。

3) 畑作物に対する肥効調節型肥料の施用効果試験（令和4～6年）

目的) 畑作物に対する被覆肥料を活用した施肥法の代替技術の開発を行う。

4) 肥料価格変動に応じたばれいしょ適正施肥量の設定（令和5～7年）

目的) 収益性確保の観点に基づき、ばれいしょのリン酸およびカリを対象にして、肥料価格を考慮した適正施肥量を明らかにする。

5) 複数畑作物のセンシングデータによる生育障害要因判定手法の確立（令和5～7年）

目的) 農業システムグループの項に記載

6) 肥料価格高騰と養分収支を考慮した直播てんさいとたまねぎに対する適正施肥量の確立（令和6～8年）

目的) 本道の主要作物であり、リン酸・カリの施肥量が比較的多い直播てんさいおよびたまねぎを対象に、肥料価格高騰を考慮し、養分収支に見合ったリン酸・カリの適正施肥量を確立する。

7) 秋まき小麦および大豆狭畦栽培の可変播種技術適用による生産安定化（令和6～8年）

目的) 農業システムグループの項に記載

8) メタン発酵消化液を用いた「てん菜」における栽培実証試験（令和6年）

目的) てんさいにおける消化液の施用効果を明らかにするとともに、施用に伴う土壌物理性への影響などを整理することで消化液を活用する際の基礎となるデータを収集する。

（土壌調査・モニタリング）

9) 農地土壌炭素貯留量等基礎調査事業（農地管理実態調査）（令和6～8年）

目的) 国際指針に準じた温室効果ガスの吸収量算定方式に基づく土壌データ収集のために、農耕地における土壌炭素の貯留量と営農管理による変動を明らかにする。

10) 国内資源の肥料利用拡大に向けた調査（地力調査）（令和6～8年）

目的) 北海道の農地及び草地における地力の実態を調査する。

11) 環境保全型有機質資源施用基準の設定調査（定点調査）（平成10年～継続）

目的) 道内の耕地土壌の理化学性の実態および経年

的变化を明らかにする。

12) 農業農村整備事業に係る土壌調査

(昭和 47 年～継続)

目的) 道営土地改良事業調査地区等について、適切な土地及び土壌改良指針を提示するため、土壌調査を実施する。

(農作物生理障害診断試験)

13) 農作物病害虫生理障害診断・緊急対策試験

(令和 2～6 年)

目的) 突発的に発生した農作物の生育異常や生育障害の診断を行い、その対策を検討する。

(新農業資材の実用化試験)

14) その他資材 (昭和 39 年～継続)

目的) 畑作物に対する肥料・培土などの新資材の効果と実用性を検討する。

〔病虫研究関連〕

(植物防疫事業)

1) 病害虫発生予察調査 (昭和 16 年～継続)

目的) 指定及び指定外病害虫について発生予察法の確立を図るとともに、病害虫の発生情報を病害虫防除所に提供し、病害虫防除の適正化を図る。

(一般病害虫試験)

2) センキュウベと病の防除技術の確立

(令和 3～6 年)

目的) センキュウの安定生産に資するため、ベと病の感染時期および防除開始時期を明らかにし、効率的で効果的な防除体系を確立する。

3) 省力・低コスト病害防除技術開発に向けた播種時・移植時処理薬剤の探索 (令和 4～6 年)

目的) 抵抗性誘導剤および浸透移行性に優れた薬剤の種子処理または苗処理により、省力的で低コストな防除法の確立を目指し、有効薬剤の探索と適応可能な病害を明らかにする。

4) テンサイ褐斑病抵抗性“かなり強”を超える系統に対する防除技術の開発 (令和 4～6 年)

目的) てんさいの褐斑病防除において、褐斑病抵抗性“かなり強”を超える系統を活用し、農薬使用回数を現在より大幅に削減した防除技術を開発する。

5) 気象変動に対応した高品質で安定生産可能な道産小麦の開発促進 (第 3 期) 2) 地域の生産および品質安定に向けた障害・病害抵抗性と収量性の選抜強化 (2) 雨害耐性および茎葉病害抵抗性の選抜強化 ② 赤かび病抵抗性の選抜および検定強化 イ) 秋まき小麦の赤かび病抵抗性

(令和 4～6 年)

目的) 変動の大きい気象条件下でも道産小麦の安定生産を可能にするため、赤かび病抵抗性の検定を行い、抵抗性に優れる品種の開発を促進する。

6) ジャガイモ黒あし病の種いも保菌に及ぼす地上部軟腐症状のリスク評価と対策

(令和 4～7 年)

目的) ばれいしょ茎の軟腐症状に関わる病原細菌の種構成を明らかにするとともに、菌種による症状の違いの有無と、茎の発病による収穫塊茎の黒あし病菌保菌リスクを明らかにする。また薬剤の茎葉散布による保菌低減効果を検討し、新たな防除対策の構築を目指す。

7) 安定的多収を目指した菜豆新品種の開発強化 (令和 4～6 年)

目的) 豆類畑作グループの項に記載

8) はくさいとスイートコーンにおけるマキバカスミカメの防除対策の確立 (令和 5～7 年)

目的) はくさいとスイートコーンにおけるマキバカスミカメの加害時期と防除適期の解明のため、周辺環境を含めた発生実態を明らかとし、効果的な薬剤の選定と合わせて、防除対策を確立する。

9) 豆類主要病害虫に対する農薬散布用ドローンをを用いた防除効果と散布特性の評価

(令和 6～8 年)

目的) 農薬散布用ドローンの薬剤散布特性を明らかにし、ブームスプレーヤなどによる地上散布と防除効果を比較し、評価する。

10) ダイズシストセンチュウ抵抗性を有する小豆有望系統の育成強化 (令和 6～8 年)

目的) 豆類畑作グループの項に記載

(農作物病害虫診断試験)

11) 農作物病虫害生理障害診断・緊急対策試験
(令和 2～6 年)

目的) 突発または新発生病害虫の診断を行う。重要な突発病害虫に対しては緊急の対策試験を実施し、対応策を生産現場に速やかに提供する。

(新農業資材の実用化試験)

12) 殺菌剤・殺虫剤 (昭和 45 年～継続)

目的) 各種病害虫に対する新殺菌剤・殺虫剤の防除効果と実用性を検討する。

〔園芸研究関連〕

(野菜に関する試験)

1) ブロッコリー省力生産体系の構築に向けた機械一斉収穫技術の確立 (令和 6～8 年)

目的) 農業システムグループの項に記載

2) 道産かぼちゃ 3 トンどり省力栽培法と長期安定出荷技術の開発 (令和 4～6 年)

目的) 一斉収穫と長期貯蔵に適した多収品種を選定し、直播・密植・無整枝等によるかぼちゃの超多収省力栽培法を開発する。また、収穫後の調製・貯蔵法を改良し、高品質な道産かぼちゃの長期安定出荷技術を開発する。

(新農業資材の実用化試験)

3) 除草剤及び生育調節剤 (昭和 31 年～継続)

目的) 園芸作物に対する各種除草剤及び生育調節剤の実用性を検討する。

〔地域支援関連〕

(革新的技術導入による地域支援)

1) 十勝地域における手亡新品種「十育 A65 号」の実証栽培試験 (令和 6～7 年)

目的) 革新的技術の迅速な普及を図るため現地実証試験を行い新技術の適合性を検証する。手亡新品種「舞てぼう (十育 A65 号)」の「雪手亡」に対しての優位性と実用性を実証することで、普及を促進する。さらに、実需による加工適性試験を行い、製品原料としての実用性を確認する。

(十勝地域農業技術支援会議プロジェクト)

2) 落花生の安定生産に向けた取り組み

(令和 5～6 年)

目的) 芽室町の落花生栽培実態について収量性、栽培

方法、病虫害発生調査を行うとともに栽培試験を行い、十勝管内での落花生安定生産に資する。

E 試験研究成果の公表

1. 技術普及に移された成果

令和6年度北海道農業試験会議(成績会議)において、当年度とりまとめた試験成績について、普及、研究、行政に提供される事項が決定された。そのうち、当场が担当または分担した提出課題は次のとおりである(農業資材試験および農業機械の性能に関する研究課題を除く)。

1) 普及奨励事項

(1) 小麦新品種候補「北見99号」(豆類畑作グループ)

2) 普及推進事項

該当なし

3) 指導参考事項

(1) ばれいしょおよび直播てんさいに対するプラスチックを用いない肥効調節型肥料の施用効果(生産技術グループ)

(2) 加工用になじんの安定供給を目指した栽培・出荷体系(生産技術グループ)

(3) 衛星リモートセンシングと地理情報を活用した畑地の排水不良域の推定法(生産技術グループ)

(4) 北海道耕地土壌の理化学性と炭素貯留量の2023年度までの推移(生産技術グループ)

(5) テンサイ褐斑病抵抗性極強品種における褐斑病の省力防除法(生産技術グループ)

4) 研究参考事項

該当なし

5) 行政参考事項

該当なし

2. 論文、資料および刊行物

1) 研究論文

論文名	学会誌名	巻号	掲載頁	著者(当场担当者には下線)
コムギ雪腐大粒菌核病の発病度と秋まきコムギ収量の関係	北日本病害虫研究会報	75	38-40	<u>東岱孝司</u>
地域資源循環に資するメタン発酵消化液の肥料利用	農業農村工学会誌	4	257-262	中村真人、北川巖、折立文子、久保田幸、森昭憲、松崎守夫、 <u>石倉究</u> 、櫻井道彦、坂本樹一郎、 <u>池本秀樹</u> 、藤田睦
高リン酸スラグ肥料の特性と効果	鉄と鋼	8	642-651	谷昌幸、木下林太郎、大西一光、 <u>池本秀樹</u> 、和崎淳、橋本洋平、原田俊哉、平田浩、柿本昌平

2) 学会講演および口頭研究発表(ポスター発表を含む)

発表名	発表学会等	開催地	開催日	発表者(当场担当者には下線)
自動操舵システムおよびセクションコントロールの効果と導入条件	令和5年度農業機械開発改良試験研究打合せ会議	さいたま市	R6.3.8	<u>木村智之</u>
施肥および農薬散布における余剰散布面積推定手法の開発	日本農作業学会2024春季大会	仙台市	R6.3.23-3.24	<u>木村智之</u> 、大畑美結、 <u>関口建二</u> 、吉田邦彦、細川優介、原圭祐
複数畑作物の衛星データの重ね合わせによる圃場内低pH地点の判別	農業情報学会	群馬県	R6.5.25-5.26	細川優介、石塚帆名子、 <u>池本秀樹</u> 、原圭祐

(続き)

発表名	発表学会等	開催地	開催日	発表者（会場担当者には下線）
宇宙実証用ハイパースペクトルセンサを活用した秋まきコムギの収量予測	日本土壤肥料学会福岡大会	福岡市	R6. 9. 2-9. 5	<u>坂本樹一郎</u> 、 <u>池本秀樹</u> 、 <u>櫻井道彦</u> （北海道農政部）
圃場内の土壤理化学性や土壌群の違いがpHに及ぼす影響	日本土壤肥料学会	福岡県	R6. 9. 3-9. 5	<u>池本秀樹</u> 、 <u>細川優介</u> 、 <u>石塚帆名子</u> 、 <u>原圭祐</u> 、 <u>石倉究</u>
衛星画像を用いた秋まき小麦の茎数推定および無追肥判定の精度検証	第82回農業食料工学会年次大会	鶴岡市	R6. 9. 8-9. 9	<u>木村智之</u> 、 <u>石倉究</u> 、 <u>関口建二</u> 、 <u>吉田邦彦</u>
ダイズの循環選抜でゲノムシャッフルリングは生じるのか？	日本育種学会第146回講演会（令和6年度秋季）	広島県	R6. 9. 19-9. 20	<u>山口直矢</u> 、 <u>五十嵐秀成</u> 、 <u>丸田泰史</u> 、 <u>長山照樹</u> 、 <u>加賀秋人</u>
小豆・いんげんまめの生産状況と品種改良の現場から	令和6年度豆類需要促進研究成果報告会	東京都	R6. 10. 10	<u>堀内優貴</u>
リモートセンシングと全層心土破砕機による黒ボク土の効率的な土層改良	日本土壤肥料学会北海道支部秋季大会	旭川市	R6. 12. 5	<u>関口建二</u> 、 <u>坂本樹一郎</u> 、 <u>池本秀樹</u> 、 <u>八木哲夫</u>
雪踏みによる越冬地温低下は赤さび病・雪腐病の減少に関連するか	日本土壤肥料学会北海道支部2024年度秋季支部大会	旭川市	R6. 12. 5	<u>下田星児</u> 、 <u>新村昭憲</u> 、 <u>東岱孝司</u>
メタン発酵消化液のリン酸および塩基の塩酸抽出による簡易分析法	日本土壤肥料学会北海道支部2024年度秋季支部大会	北海道	R6. 12. 5	<u>坂本樹一郎</u> 、 <u>石倉究</u> 、 <u>池本秀樹</u> 、 <u>中村真人</u> 、 <u>折立文子</u>
直播テンサイに対するチリ硝石の施肥が終了や品質に及ぼす影響	日本土壤肥料学会北海道支部秋季大会	旭川市	R6. 12. 5	<u>池本秀樹</u> 、 <u>石倉究</u>
多雨と記録的高温がながいもの窒素栄養状態と尻割れ発生に及ぼす影響	日本土壤肥料学会北海道支部大会	旭川市	R6. 12. 5	<u>坂口雅己</u> 、 <u>八木亮治</u> 、 <u>坂本樹一郎</u> 、 <u>小谷野茂和</u>
ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性を持つ海外遺伝資源後代のでん粉品質の特徴	令和6年度北海道談話会	オンライン	R6. 12. 7	<u>和崎俊文</u> 、 <u>足利奈奈</u> 、 <u>品田博史</u> 、 <u>石川圭大</u>
十勝地域におけるラッカセイ栽培の実際と栽培法による比較	令和6年度北海道談話会	オンライン	R6. 12. 7	<u>田澤暁子</u> 、 <u>清水理沙</u> 、 <u>村田暢明</u>
高タンパク質含有のダイズ変異体における代謝物の網羅的分析	日本農芸化学会2025年度大会	北海道札幌市	R7. 3. 4-3. 8	<u>梅原里奈</u> 、 <u>小林聡</u> 、 <u>佐藤圭</u> 、 <u>五十嵐秀成</u> 、 <u>高橋春南</u> 、 <u>山口直矢</u> 、 <u>前多隼人</u>
ダイズ「とよまどか」の突然変異集団を用いた高タンパク質系統の選抜とその特性評価	日本育種学会第147回講演会（令和7年度春季）	宮城県仙台市	R7. 3. 19-3. 21	<u>足利奈奈</u> 、 <u>小林聡</u> 、 <u>五十嵐秀成</u> 、 <u>高橋春南</u> 、 <u>佐藤圭</u> 、 <u>細川優介</u> 、 <u>山口直矢</u>
遺伝子型と環境相互作用（GEI）の解析によるカナダと北海道のダイズ収量安定性評価	日本育種学会第147回講演会（令和7年度春季）	宮城県仙台市	R7. 3. 19-3. 21	<u>五十嵐秀成</u> 、 <u>山口直矢</u>
納豆用ダイズの極小粒化を目指した百粒重のゲノミック予測モデルの構築	日本育種学会第147回講演会（令和7年度春季）	宮城県仙台市	R7. 3. 19-3. 21	<u>山口直矢</u> 、 <u>白澤健太</u> 、 <u>五十嵐秀成</u> 、 <u>山田哲也</u>
ダイズ交配集団における未知ゲノム情報推定とハプロタイプを用いたゲノミック予測	日本育種学会第147回講演会（令和7年度春季）	宮城県仙台市	R7. 3. 19-3. 21	<u>岡部黎</u> 、 <u>櫻井建吾</u> 、 <u>稲森稔</u> 、 <u>五十嵐秀成</u> 、 <u>山口直矢</u> 、 <u>加賀秋人</u> 、 <u>岩田洋佳</u>
ダイズ循環交配における効率的な社会性ハナバチ類の使用法	第69回日本応用動物昆虫学会	千葉県幕張市	R7. 3. 20-3. 22	<u>渡邊智大</u> 、 <u>川口拓真</u> 、 <u>横井智之</u> 、 <u>津田麻衣</u> 、 <u>加賀秋人</u> 、 <u>長山照樹</u> 、 <u>山口直矢</u> 、 <u>五十嵐秀成</u>
ノンターゲットメタボローム解析による赤かび病の圃場抵抗性に関わるコムギ代謝物の探索	第66回日本植物生理学会年会（金沢年会）	石川県金沢市	R7. 3. 14-3. 16	<u>中野正貴</u> 、 <u>足利奈奈</u> 、 <u>大西志全</u> 、 <u>木村真</u> 、 <u>西内巧</u>
コムギ縮萎縮病(WYMV)とコムギ萎縮病(SBWMV)の混合感染がコムギ収量に及ぼす影響	日本育種学会第147回講演会	宮城県	R7. 3. 20-3. 21	<u>来嶋正朋</u> 、 <u>東岱孝司</u> 、 <u>其田達也</u> 、 <u>大西志全</u> 、 <u>石川美貴</u> 、 <u>石村博之</u>
農業散布用ドローンの防除効果と散布特性に関する研究—機体重量の変動がダウングロッシュ・散布分布に及ぼす影響—	日本農作業学会2025年度春季大会	新潟県	R7. 3. 26-3. 28	<u>関口建二</u> 、 <u>東岱孝司</u>
ジエトフェンカルブ・ベノミル混合剤によるテンサイ褐斑病の防除効果	令和7年度日本植物病理学会大会	高松市	R7. 3. 26-3. 28	<u>森万菜実</u> 、 <u>東岱孝司</u> 、 <u>栢森美如</u>

3）専門雑誌記事

タイトル	掲載誌名	号数	掲載頁	著者
土壌センシング情報と作条施肥機を利用したキャベツに対する元肥可変施肥技術	技術と普及	4月号	12-13	関口建二
北海道の野菜づくり（品目：キャベツ）	ニューカントリー 北海道の野菜作り	2024秋季増刊号	135-138	奥村理
第1部 第2章「土壌診断等に基づく適切な施肥管理」	ニューカントリー 北海道の野菜作り	2024秋季増刊号	51-55	坂口雅己
第2部 第4章 「すいか」	ニューカントリー 北海道の野菜作り	2024秋季増刊号	198-202	坂口雅己
可給態窒素に基づくトマトの追肥技術	作物生産と土づくり	12・1月号	36-39	坂口雅己
ダイズシストセンチュウ抵抗性小豆品種の育成を目指した取り組み	豆類時報	第118号	32-39	長澤秀高

4) 著編書・資料

タイトル	書誌名	発行所	掲載頁	著者（当該担当者には下線）
第1部 第2章 「土壌診断等に基づく適切な施肥管理」	ニューカントリー 2024秋季増刊号 北海道の野菜づくり	(株) 北海道共同通信社	51-55	<u>坂口雅己</u>
第2部 第2章 「キャベツ」	ニューカントリー 2024秋季増刊号 北海道の野菜づくり	(株) 北海道共同通信社	135-138	<u>奥村理</u>
第2部 第4章 「すいか」	ニューカントリー 2024秋季増刊号 北海道の野菜づくり	(株) 北海道共同通信社	198-202	<u>坂口雅己</u>
Evaluation Methods for Preharvest Sprouting Resistance in Japanese Wheat Breeding Programs	Seed Dormancy : Methods and Protocols	Springer	175-193	Masaya Fujita, <u>Nana Ashikaga</u> , Hitoshi Matsunaka, Makiko Chono & Shingo Nakamura
IV-1. 北海道の農業試験場における試験研究助成 (1) 安定多収栽培、(2) 病虫害防除、(3) 安定多収技術、(4) 機械化	60年のあゆみ 日本豆類協会 創立60周年	(公財) 日本豆類協会	23-44	小谷野茂和、相馬ちひろ、谷藤健、 <u>東岱孝司</u> 、中川浩輔、藤根統、 <u>堀内優貴</u> 、三宅規文、 <u>吉田邦彦</u>

5) 新聞記事

タイトル	新聞名	掲載日	著者
「トラクタ自走操舵システムの導入効果と所得増大に寄与する条件」	農業共済新聞	R6. 9. 11	大畑美結
北海道での秋まき小麦に発生しやすい雪腐病の発生動向や防除ポイント	日本農業新聞	R6. 11. 7	東岱孝司
でん粉原料用ばれいしょ「コナヒメ」の安定生産のための栽培法	農業共済新聞	R6. 11. 20	坂本樹一朗

6) 刊行印刷物

タイトル	部数等	頁数	発行年月
令和7年 十勝圏農業新技術セミナー 一畑 昨・野菜－（要旨集）	300	17	R7. 2

F 研修および技術支援

1. 研修生の受入れ

1) 普及指導員研修

名 称	関係機関・対象者	実施期間	担当グループ
令和6年度普及指導員研修（新任者早期養成研修 新任者研修Ⅱ／経営・労働、土壌・肥料、植物保護）	普及指導員21名	R6. 9. 2～3 （農業大学校）	生産技術G
令和6年度普及指導員研修（スペシャリスト強化研修／畑作）	普及指導員6名	R6. 6. 26～28	各G、技術普及室
令和6年度普及指導員研修（スペシャリスト強化研修／経営・労働）	普及指導員20名	R6. 10. 29 （農業大学校）	農業システムG
令和6年度普及指導員研修（高度専門技術研修／畑作（前期））	普及指導員2名	R6. 6. 13～14	研究部長、各G 技術普及室
令和6年度普及指導員研修（高度専門技術研修／経営労働）	普及指導員2名	R6. 11. 6～7	農業システムG
令和6年度普及指導員普及奨励新技術研修（畑作・園芸部門） ※振興局主催	参加者48名（うち普及指導員38名）	R7. 2. 5	各G、技術普及室

2) 国際協力事業等への協力

なし

3) その他

なし

2. 技術支援

1) 技術相談

電話、メール、訪問等による技術的な質問に対して回答を行い、延べ317件の案件に対応した。

2) 技術指導

病虫害等の診断依頼、調査手法の指導依頼に対応し、延べ89件の案件に対応した。主な依頼者は、農業改良普及センター、農業協同組合、民間企業、一般農業生産者である。

3) 講師派遣

講義内容	依頼者	実施月日	対応者
農業所得に関する作物別分析結果の報告	JA十勝池田	3月29日	渡辺康平
第66回豆類加工研究会	豆類加工研究会	5月22日	堀内優貴
農業経営者育成研修（栽培経営基礎コース）	道立農業大学校	5月30日	石倉究
でん原用馬鈴しょコナヒメの安定生産のための栽培法	十勝管内農業協同組合農産技術対策協議会	6月3日	坂本樹一朗
加工用馬鈴しょの土壌診断に基づく窒素施肥対応の実証	十勝管内農業協同組合農産技術対策協議会	6月3日	田澤暁子
令和6年度 第一回北海道農産協会技術専門部会の出席	北海道農産協会	6月6日	東岱孝司
芽室町新農業経営者育成システム研修	JAめむろ	6月20・21日 10月15・16日	田澤暁子ほか
病害診断	北海道農政部	6月26日	東岱孝司
令和6年度営農企画・経営相談担当者会議	十勝農業協同組合連合会	7月5日	渡辺康平
畑作部会研修会	十勝農改 畑作部会	7月12日	来嶋正朋
JAさらべつ青年部学習会	JAさらべつ青年部	7月17日	石倉究
道総研における大豆の育種について	帯広畜産大学環境農学研究部門 教授 加藤清明	7月18日	萩原誠司
支援要請対応「農業経営費の算出手順」	十勝農業改良普及センター東部支所	7月23日	渡辺康平・平石学
北海道総合農学研究会夏期農業実験実習講習会	帯広農業高校	7月31日	石倉究
地力窒素に基づくトマトの追肥技術	土づくり推進フォーラム	8月8日	坂口雅己
十勝農協連「経営管理支援システム」の活用支援	十勝農業協同組合連合会	8月20日	渡辺康平
委託試験における褐斑病試験圃並びに黒根病試験圃の現地調査	北海道農産協会	8月21日	東岱孝司
土壌断面研修	本別農協土づくりを考える会	8月21日	石倉究
十勝農協連「経営管理支援システム」の活用支援	十勝農業協同組合連合会	8月21日	渡辺康平
十勝農協連「経営管理支援システム」の活用支援	十勝農業協同組合連合会	8月23日	渡辺康平
畑作部会研修会	十勝農業改良普及センター畑作部会	8月26日	来嶋正朋
令和6年度豆類需給安定会議	（公社）北海道農産基金協会	9月5日	堀内優貴
第2回 てん菜輸入品種検定試験並びに品種連絡試験の現地調査	北海道農産協会	9月18日	東岱孝司
十勝農協連「経営管理支援システム」の活用支援	十勝農業協同組合連合会	9月27日	渡辺康平
豆類需要促進研究成果報告会	公益財団法人日本豆類協会	10月10日	堀内優貴
気候変動が主要作物に及ぼす影響とその対応	スクラム十勝シンポジウム	10月22日	坂口雅己
衛星画像による広域的な秋小麦「きたほなみ」の追肥判断について	新篠津村農業塾	11月7日	木村智之
衛星画像による広域的な秋小麦「きたほなみ」の追肥判断について	新篠津村農業塾	11月7日	木村智之
十勝池田町小麦生産委員会昭栄地区研修会	JA十勝池田町	12月17日	石倉究

(続き)

講義内容	依頼者	実施月日	対応者
支援要請対応「農業経営費の算出手順」	十勝農業改良普及センター東部支所	11月29日	渡辺康平
令和6年度北海道豆類振興会帯広地区懇談会	北海道豆類振興会	12月18日	奥山昌隆
JAめむろ落花生生産組合出荷反省会	JAめむろ落花生生産組合	12月18日	田澤暁子、村田暢明
ながいも種子調整の基礎について	JAとかち農技協	12月19日	坂口雅己
青色申告決算の所得解析結果の報告	十勝農業協同組合連合会	12月27日	渡辺康平
施肥防除合理化推進協議会成績検討	十勝管内農業協同組合農産技術対策協議会	1月16日	石倉究、東岱孝司
十勝地域農業者合同研修会（第1回）	帯広市農政課	1月23日	石倉究
総合的病害虫管理	国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学	1月24日	丸山麻理弥
令和6年度 第二回北海道農産協会技術専門部会の出席	北海道農産協会	1月30日	東岱孝司
支援要請対応「農業経営費の算出手順」	十勝農業改良普及センター東部支所	1月31日	渡辺康平
北海道耕地土壌の理化学性と炭素貯留量の2023年までの推移	北海道農政部技術普及課	2月5日	坂口雅己
十勝地域農業者合同研修会（第2回）	帯広市農政課	2月6日	石倉究
陸稲の栽培事例紹介について	十勝農業改良普及センター本所	2月6日	池本秀樹
支援要請対応「農業経営費の算出手順」	十勝農業改良普及センター東部支所	2月10日	渡辺康平
令和7年豆作り講習会	公益財団法人日本豆類協会	2月14日	佐藤博一
令和7年豆作り講習会	公益財団法人日本豆類協会	2月14日	長澤秀高
本別町土づくりを考える会冬期研修会	本別農協土づくりを考える会	2月17日	石倉究
高品質てん菜づくり講習会	北海道農産協会	2月20日	東岱孝司
清水町はくさいのカメムシについて	清水町蔬菜振興会 白菜・キャベツ部会	2月21日	丸山麻理弥
樹脂コーティングに依存しない緩効性肥料について	全国肥料商連合会	2月21日	坂本樹一朗
大豆育種の取り組み状況について	JA小清水町	2月25日	萩原誠司
令和6年度豆類需給安定会議「良質小麦安定生産技術講習会」	幕別町	2月26日	来嶋正朋
土壌物理性不良地点における大豆の生育・収量調査結果	JA十勝池田町	2月28日	関口建二
十勝池田町農協畑作講習会	JA十勝池田町	2月28日	石倉究
池田町における土壌の特徴と圃場内のpHムラの関係	JA十勝池田町	2月28日	池本秀樹
ながいも種子調整の基礎について	JA帯広市川西	2月28日	坂口雅己
支援要請対応「農業経営費の算出手順」	十勝農業改良普及センター東部支所	3月18日	渡辺康平
グリーンな栽培体系への転換サポート事業に係る勉強会	JA帯広川西	3月25日	石倉究

3. 参観・視察者対応

1) 参観・視察者

訪問団体等	人数	訪問日	対応グループ
網走農業改良普及センター清里支所	9	R6. 6. 25	豆類畑作G
清里町長いも生産組合	10	R6. 6. 27	生産技術G
当別町4Hクラブ	16	R6. 6. 28	農業システムG 生産技術G
平和畑作研究会（更別村）	13	R6. 7. 2	豆類畑作G
帯広畜産大学 農業経済学ユニット	30	R6. 7. 19	豆類畑作G 生産技術G
帯広畜産大学・北海道大学	30	R6. 7. 19	豆類畑作G
十勝農業改良普及センター東部支所（ヤングファーマーズ講座）	18	R6. 8. 5	生産技術G
ホクレン肥料株式会社	25	R6. 8. 22	豆類畑作G
ホクレン農産部雑穀課	18	R6. 8. 28	豆類畑作G
網走農業改良普及センター清里支所	2	R6. 8. 30	農業システムG 生産技術G
北海道農産基金協会	35	R6. 9. 5	豆類畑作G
(株)山本忠信商店	6	R6. 9. 9	豆類畑作G
(株)丸勝	6	R6. 9. 10	豆類畑作G
(一社)日本植物蛋白食品協会	12	R6. 9. 30	豆類畑作G
石狩農業改良普及センター	4	R6. 10. 8	豆類畑作G
新篠津村農業振興センター	9	R6. 11. 7	農業システムG
JAとまこまい広域青年部穂別支部	15	R6. 12. 2	生産技術G
北星豆類採種組合	5	R7. 2. 6	豆類畑作G
(株)美十 (株)山本忠信商店	3	R7. 3. 25	豆類畑作G

注) 「1. 研修生の受け入れ」に記載したものは除いた。

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
団体数	0	3	3	4	4	1	1	1	0	1	1	19
人数	0	35	73	63	59	4	9	15	0	5	3	266(人)

G 広報活動、研究企画、場運営等

1. 広報活動

1) 令和6年度十勝農業試験場公開デー

日 時：令和6年8月8日(木) 10:00～13:00

場 所：場 内

主 催：十勝農試（共催、後援機関はなし）

参加者：100名（生産者1、団体職員公務員等28、一般大人34、学生生徒以下37）

催事内容：①パネルによる農試紹介、②ほ場見学バスツアー、③作物ポット展示、④昆虫標本展示、⑤顕微鏡観察、⑥ドローンと空撮映像の放映展示、⑦豆アート体験、⑧たねの手ざわり体験、⑨トラクター試乗（静態）、⑩試食：長いも「きたねばり、とかち太郎」ふかしいも、⑪物販：パン、地元農産加工物、キッチンカー）

2) 令和7年 十勝圏農業新技術セミナー

日 時：令和7年2月27日（水）13:00～16:00

場 所：幕別町百年記念ホール

主 催：十勝農試（共催：十勝農業改良普及センター、幕別町、後援：十勝農業協同組合連合会、北海道十勝総合振興局）

参加者：205名

内 容：

・新品種・新技術の紹介（口頭発表）

①コムギ蒔萎縮病に強い 秋まき小麦新品種「きたほなみR」、②プラスチック被覆肥料に頼らない ばれいしょ・てんさいへの代替資材、③加工用にんじんを4月まで安定供給！、④衛星データと地理情報で農地の排水性を診断、⑤露地野菜の収穫が楽々！コンベヤキャリアによる収穫体系、⑥令和7年に特に注意を要する病害虫、⑦テンサイ褐斑病抵抗性極強品種の省力防除法、

・ポスター発表

①貯蔵後も「男爵薯」に近い味わいで芽が出にくい ばれいしょ「ゆめいころ」、②輪作に加えるとメリットたくさん！子実用とうもろこし有機栽培のコツ、③食を育む北海道の耕地土壌の現状、④GAP導入で経営改善～モチベーションに着目した対応策～、⑤令和6年度に新たに確認された病害虫、⑥コンバインで収穫ロスが少ない！小豆「きたいろは（十育180号）」、⑦倒れにくく葉落ちスッキリ！手亡「舞てぼう（十育A65号）」、

⑧倒れずにたくさん穫れる！早生金時「秋晴れ」

3) フードバレーとかち推進協議会

本協議会は、「農林水産業」や「食」を柱とする地域産業政策「フードバレーとかち」を推進し、産業の振興を十勝全体で図ることを目的として、十勝管内の農林水産業関係団体、商工業団体、大学試験研究機関、金融機関、行政団体を持って組織される。会場からは場長が協議会委員として参画している。

・令和6年4月26日に定期総会が書面開催され、令和6年度の事業計画、収支予算が承認された。

4) スクラム十勝

(1) 令和6年第1回スクラム十勝戦略計画チーム会議

日 時：令和6年5月16日 13:30～15:00

場 所：Zoom 会議

内 容：①スクラム十勝の名簿について：人事異動により変更のあった箇所について確認した。②令和6年度スクラム十勝シンポジウムについて：令和6年度の担当機関である家畜改良センター十勝牧場から、シンポジウムの企画案が提示され、検討を行った。

(2) スクラム十勝シンポジウム 2024

日 時：令和6年10月22日 14:00～16:45

場 所：会場（とかちプラザ）およびオンライン（Zoom）によるハイブリッド開催

主 催：スクラム十勝（帯広畜産大学、北農研芽室拠点、畜試、十勝農試、とかち財団、家畜改良センター十勝牧場）

参加者：125名

内 容：「今後の食料、農業及び農村について」をテーマとして、主催6機関がそれぞれ20分の講演を行った。会場からは生産技術Gの坂口主査が「気候変動が主要畑作物に及ぼす影響とその対応」とのタイトルで発表した。なお、本シンポジウムは、帯広市民大学講座としても開催し、同講座を聴講する一般市民も参加した。

5) ホームページの更新、技術情報の公開

十勝農試情報システム委員会が中心となり、ホームページの修正・更新などの運用管理および、場内 LAN の保守等を行った。また、例年どおり場主催行事開催

案内および入札情報を随時掲載し、耕作期間中は定期

作況報告を毎月更新した。

2. 研究企画・場運営

1) 諸会議

(1) 運営会議

場の管理運営に係る事項の協議を行う場として、協議案件により、運営会議（研究主幹以上）を開催した。開催月日は令和6年4月17日、5月23日、7月25日、11月25日、令和7年2月6日、3月18日であった。

(2) 北海道農業試験会議に係る場内検討会

新規課題検討会議、成績会議および設計会議に提出する試験研究課題について、それぞれ6月19日、12月10日および2月7・12日に場内検討会を開催した。

(3) 現地委託試験検討会議

十勝管内現地委託試験に係る成績検討会議は令和6年12月4日に芽室駅前プラザで、設計検討会議は令和7年3月19日にオンライン（Zoom）で開催した。

2) 各種委員会

(1) 構成

委員会名	委員長	副委員長	事務局	委員
交通安全対策委員会	安全運転管理者 (総務課長)	副安全運転管理者 (研究部長)	主査(総務)	各研究主幹
業務委員会	研究部長	—	豆類畑作G 研究主幹 (大豆・支援)	杉村海飛、五十嵐秀成、長澤秀高、青山聡、吉田邦彦、池本秀樹、奥村理、村田暢明
土地利用計画委員会	研究部長	総務課長	豆類畑作G 研究主幹 (大豆・支援)	各研究主幹（豆類畑作G〈大豆・支援〉を除く）、主査（総務、大豆、小豆菜豆、畑作、栽培システム、栽培環境、園芸、病虫）
図書委員会	研究部長	総務課長	生産技術G 研究主幹	主査(総務)、足利奈奈、堀内優貴、渡辺康平、白井佳代
情報システム委員会	研究部長	—	豆類畑作G 研究主幹 (小菜畑)	主査(総務)、三浦風香、萩原誠司、来嶋正朋、関口建二、坂本樹一朗
契約職員雇用委員会	総務課長	—	主査(総務)	各研究主幹
防災対策委員会	場長	研究部長	—	総務課長、主査(総務)、高橋英樹、豆類畑作G〈大豆・支援〉研究主幹
入札参加者指名選考委員会	場長	—	[書記] 主査(総務)	研究部長、総務課長、研究主幹（都度指名）
請負工事施工成績評価委員会	場長	—	—	研究部長、総務課長、研究主幹（都度指名）
施設管理委員会	研究部長	—	総務課長	主査(総務)、各研究主幹
安全衛生委員会	場長	—	[事務責任者] 総務課長	研究部長、各研究主幹（衛生管理者含む）、安全衛生担当者、労働組合支部長、同書記長

(2) 活動内容

ア. 土地利用計画委員会

令和7年3月26日に第1回土地利用計画委員会を開催した。令和7年度土地利用計画および年次別作付計画は提案通り了承された。A5圃場の暫定的隔離圃場指定を解除し、十勝農試土壤病虫害汚染防止方針等を修正することについて了承された。また、生産技術G

固定圃に試験設計上必要な土壌有機物を施用することが了承された。防風林整備計画について、令和6年度実施状況と、令和7年度計画が報告された。

イ. 契約職員等雇用委員会

令和7年3月5日に次年度雇用委員会を開催し、求人掲示（ハローワーク）と書類選考を経て、3月26日までに面接を実施した。令和6年度の場内契約職員等

27名（事務補助、農作業補助、農業技能）の任用者を決定した。

ウ. 業務委員会

定期業務委員会を令和6年4月11日から10月31日まで、毎週木曜日16時から計31回開催し、次週の作業計画等を調整・決定した。

エ. 情報システム委員会

ホームページの修正・更新などの運用管理および、場内LANの保守等を行った。IT資産管理システム・資産管理エージェントについては、①オフラインのパソコンからのデータ収集および本部報告（2か月毎）と、②各職員パソコンのソフトウェアライセンス台帳登録を実施している。

オ. 図書委員会

令和7年2月3日から2月10日にかけて、図書委員内でメールにより次年度購入の和雑誌について協議し、2月12日の図書委員会（第1回、メール開催）で購読計画を決定した。

カ. 安全衛生委員会

場内安全衛生委員会を毎月1回開催（令和6年4月18日、5月23日、6月25日、7月25日、8月22日、9月19日、10月17日、11月28日、12月19日、令和7年1月30日、2月26日、3月26日）し、場内諸施設等の安全確認と灯油漏洩再発防止定期点検などを行った。

3) 職員研修

(1) 職員研修

受講者	研 修 課 題	研修場所	研修期間
島田 翔太	新規採用職員研修A	道総研プラザ	R6.4.9～11
職員4名	道総研不正防止計画に基づくコンプライアンス研修	自習	R6.5.16～6.3
職員2名	道総研不正防止計画に基づく研究倫理研修	eラーニング	R6.5.16
池本 秀樹 島田 翔太	農研本部新規採用研究職員研修	道総研プラザ	R6.6.20
田澤 暁子 渡辺 康平	新任主査研修	オンライン受講	R6.7.2～3
島田 翔太	新規採用職員研修B	オンライン受講	R6.7.12 R6.11.15 R6.11.29 R6.12.6 R7.1.16
猪股 大翔	第1回広報研修	道総研プラザ	R6.8.23
島田 翔太	新規採用職員研修C	さけます内水面水試・中央水産試験場	R6.10.8～10
駒井 敦	ハラスメント相談員研修	道総研プラザ	R6.10.30
駒井 敦	情報公開・個人情報保護事務研修	かでる2. 7	R6.11.20
三浦 風香	第2回広報研修	オンライン受講	R7.2.6
田澤 暁子 丸山 麻里弥	女性活躍推進研修	道総研プラザ	R7.2.28
島田 翔太	研究開発能力向上研修（競争的資金獲得研修）	オンライン受講	R7.3.11
職員40名	eラーニング研修（コンプライアンス・ハラスメント・アンガーマネジメント）	オンライン受講	R6.4.23～ R7.3.31

(2) 技術研修

受講者	研 修 課 題	研修場所	研修期間
杉村 海飛	危険物取扱者保安講習	とかちプラザ	R6. 7. 2
安岡 眞二	化学物質管理者講習(取扱事業場向け)	オンライン受講	R6. 7. 19
杉村 海飛	中型自動車免許取得に向けた教習	芽室自動車学校	R6. 7. 30～8. 9
大波 正寿 酒井 治 平石 学	保護具着用管理責任者教育	北海道安全衛生サービスセンター	R6. 8. 6
安岡 眞二	安全運転管理者等講習	幕別町百年記念ホール	R6. 9. 12
奥山 昌隆	保護具着用管理責任者教育	道特会館	R6. 9. 17
猪股 大翔	危険予知訓練研修	北海道安全衛生サービスセンター	R7. 2. 7
丸山 麻理弥	CLC Genomics Workbench オンライン講習会	オンライン受講	R7. 3. 25～26

4) 海外出張

該当なし

5) 表 彰

受賞者(当該職員のみ記載)	表 彰 項 目	受賞日
相馬 潤	道総研農業研究本部長表彰	R7. 3. 11

6) 職場研修

研 修 項 目	実施日
行動とモラル、危機管理、交通安全、文書事務、研究不正防止、防疫、農作業安全等	R6. 4. 24
契約職員採用時研修(就業規則、行動のルールとモラル、交通安全、農作業安全等)	R6. 5. 13
場内ほ場参観リハーサル	R6. 6. 11
交通安全研修	R6. 9. 5
消防訓練	R6. 10. 29
冬道講習会	R6. 11. 18
情報セキュリティ研修	R7. 2. 25～
	R7. 3. 19
各種学会、研究会、シンポジウム等の講演リハーサル	随時実施
交通安全情報の周知(帯広警察署等からの情報を全職員に回覧)	116回
交通安全意識向上啓発(運営会議において場長から交通安全を啓発)	3回

7) 安全衛生対策

開 催 内 容	検討内容	実施日
第1回安全衛生委員会	熱中症・コロナ対策、職場巡視、機械警備関係、保護具の取扱い、作業安全注意喚起、意見交換など	R6. 4. 22
第2回安全衛生委員会		R6. 5. 23
第3回安全衛生委員会		R6. 6. 25
第4回安全衛生委員会		R6. 7. 25
第5回安全衛生委員会		R6. 8. 22
第6回安全衛生委員会		R6. 9. 19
第7回安全衛生委員会		R6. 10. 17
第8回安全衛生委員会		R6. 11. 28
第9回安全衛生委員会		R6. 12. 19
第10回安全衛生委員会		R7. 1. 30
第11回安全衛生委員会		R7. 2. 26
第12回安全衛生委員会		R7. 3. 26

3. 自己点検への対応

道総研集約 リストNo.	項 目	件数、人数等
1	研究成果発表会・企業向けセミナーの開催状況	1件
2	研究会等の開催状況	0件
3	展示会等への出展件数	1件
4	研究報告書の発行状況	0件
5	技術資料の発行状況	1件
6	その他紙媒体発行状況	0件
7	普及組織との連絡会議等開催件数	5件、10回
8	企業等へ訪問し広報活動した件数	0件
9	行政や企業等で活用された成果の数	0件
12	研究成果発表会・企業向けセミナーによる公表件数	9件
13	研究会における公表件数	0件
14	学会誌等への投稿	16件
15	研究報告書での発表件数	0件
16	学会やシンポジウム等での発表件数	24件
17	ホームページ等による公表件数	1件
19	学会役員・委員件数	7件
20	技術相談の実施状況	317件
21	技術指導の実施状況	89件
22	講師等派遣の実施状況	76件
27	研修者の受入状況	7件、70名
28	連携協定先との事業の実施件数	3件
29	道関係部との連絡会議等の開催件数	14件
30	市町村との意見交換等の開催	1件
31	関係団体との意見交換等の開催	13件、16回
32	道民意見把握調査の回答数	2件
33	出前授業の実施件数	5件
37	国内研修Ⅱの派遣状況	7件
38	道民向けイベントの開催状況	2件
39	国際協力事業等への協力状況	0件
40	災害等に関係した技術指導	0件
42	ホームページ発信・更新件数	10件
46	職場研修	3件
47	安全衛生委員会等	12件
48	機器設備の点検状況：職場巡視による各調査室と農業機械庫等の点検	1回
49	その他の取り組み：敷地内ゴミ拾いと草刈りなどの環境整備	6回
50	グリーン購入の金額	3,418千円
51	視察・見学者の受入状況	19件、266名

注) 例年、実績のない項目は除いた。

令和6年度
十 勝 農 業 試 験 場 年 報

令和7年7月

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 十勝農業試験場 発行
〒082-0081 北海道河西郡芽室町新生南9線2番地

Tel 0155-62-2431

Fax 0155-62-0680

<https://www.hro.or.jp/agricultural/research/tokachi/index.html>
